PERIODICAL
#75
#75
LIBRARY
FEB 9 1961
FISH & WILDLIFE SERVICE

鮪漁業 第七十五号 昭和三十六年一月十日（発行毎月一回十日発行）
昭和三十一年二月二十三日 第三種郵便物認可

鮪漁業

TUNA FISHING

（新年特集号）

Contents translated inside cover—

鮪漁業 研究会

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY JAPAN

No.75, 1961

JRC 漁船用無線装置

常に耕し研究と最高技術を

定評ある送信機
優秀な受信機
新設計の船内拡声装置
超小型魚群探知機

日本の誇り
国産レーダー
漁場の測定に
ロラン受信機
安全航海に
気象模写受信装置

本社・工場　東京都三鷹市上連雀930
事業部　東京都港区芝田村町1の7
第3森ビル（5・6階）
大阪支社　大阪市北区堂島中1の22

JRC
日本無線

クレモナ

鮪延縄・命綱 （検査ロープ資格あり）

○命綱ならクレモナロープ！

船艙の"むれ"におかされずショックに強くいつでも安心してご使用できます

○鮪延縄にはクレモナ10番手糸製品を！

性能が従来の20番手糸製品同様ですが強力の点で優れています

（説明書パンフレット進呈）

倉敷レイヨン株式会社
本社・大阪市北区梅田2番地
東京・東京都中央区日本橋通り3の1

1961 目次 No. 75（新年号）

新春のことば　神奈川県知事 内山岩太郎
年頭の辞　鮪漁業研究会長 菅野進
鮪漁船紹介　☆第21順光丸　☆第3成洋丸　☆第38事代丸　☆第1七洋丸　☆第28海幸丸　☆第18万寿海丸
鮪漁況速報　1960年10月上旬，10月中旬，10月下旬・11月上旬，11月中旬，11月下旬

1960年2月におけるマグロ漁場の漁況と海況の概要
（南水研，神水試，鮪漁研委託調査船362隻の資料による）……1
1. 鮪類の月別，海区別漁獲表（1960年2月操業分）……2
東部太平洋第1漁場……2
東部太平洋第4漁場……2
中部太平洋第2漁場……3
西部太平洋第1漁場……3
西部太平洋第3漁場……4
スンダ列島漁場……5
北部印度洋漁場……6
南部印度洋漁場……6
東部太平洋第3漁場……2
中部太平洋第1漁場……2
中部太平洋第3漁場……3
西部太平洋第2漁場……4
西部太平洋第4漁場……5
東部印度洋漁場……5
中部印度洋漁場……6
2. 鮪類の月別，漁場別体長組成表（1960年2月操業分）……8

特集・マグロに関する座談会（第三回）……25

会員レポート 1960年2月分……10
濠洲スチーブ岬西方海域における魚体について……第11信宝丸
濠洲スチーブ岬西方海域における海況及び漁況……福島丸
マグロ漁況概況予報（1961年2月）……神奈川県水産試験場……11
まぐろ研究報告の紹介 No. 18……14
マグロ延縄の漂移からみたソロモン群島近海6～8月の海流……山中一……14
煮沸前のキハダのグリーン及び
オフカラー状の性質……J.J. Naughton, M. M. Frodyma, H. Zeitlin.……14
鮪類水揚価格表（三崎）昭和35年11月，12月……15
セーシェル諸島よりマルディヴ諸島にかけての海域の各漁場間の
漁況及び体長組成上の関係について…神奈川県水産試験場…（中条，渡辺）16
＝新製品紹介＝　改良餌料用冷凍さんま
「スーパー・デラックス・ベイト」の概要……鈴木五郎……23

鮪漁業関連会社誌上訪問 ①
― 冷凍機工場 ―
日新興業株式会社……38

消息……41　本会図書誌の分譲其の他について……41

新春のことば

神奈川県知事　内山岩太郎

全国の鮪漁業研究会会員の皆様新年おめでとうございます.

皆様のたゆまざる御努力により日本のまぐろ漁業が，文字どおり世界のまぐろ漁業として発展してまいったことに対しまして，心から敬意を表します.

柔いつくしの芽がいてついた固い土を破って伸び出すように内から盛り上る力は，どんな障害も破って生々と発展するものです．日本のまぐろ漁業も直接漁業にたづさわる船主船員の皆様はもちろん漁船や各種の装備漁具等のメーカーあるいは地味な統計や研究に尽力される方々が一丸となって，あらゆる困難に打ち勝って努力された結果が，今日の大をなしたものと考えられます．しかしながらこれで満足し油断することは禁物です．あらゆる産業が自由化競争のきびしいあらしの中に立たされてきており，まぐろ漁業もその例外ではあり得ません．従来いわれていた日本のまぐろ漁業が，乗組員の重労働と低賃金によってさゝえられていたという時代はも早過去のものとなり，経営面および技術面においても，また業務管理の面においても合理的な改善が叫ばれているゆえんであり，業界としても着々その方向に進んでいることと思います.

鮪漁業研究会が多年にわたって集積された資源調査の資料は，単に操業の指針となるばかりでなく，この合理化の正しい方向や方法を定める上に，欠くことのできない貴重なる基礎資料でありまして，これを大いに活用することにより，皆様の多年の経験もより有効に生かされるものと信じます.

年頭にあたりまして本会の御発展と会員皆様の御多幸と御活躍を祈ります.

賀　正

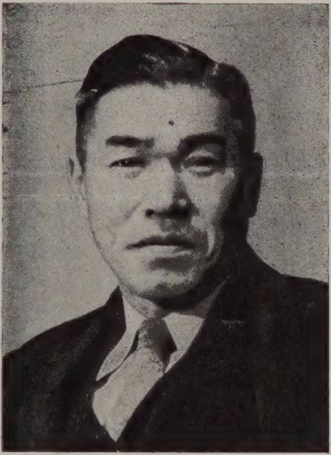
事　事代漁業株式会社

取締役社長　寺本正市

本社　神奈川県三浦市三崎町花暮147
電話三浦2136番(代表)

年　頭　の　辞

鮪漁業研究会長　菅　野　進



昭和36年の新春を迎えるに当りまして，業界の皆さんに御祝詞を申し上げる機会を得ますことは，私の幸いとするところで御座います．

昨年は鮪漁業界としては多事多難の年でありましたにも拘らず幸いにもその一つ一つが解決し，又その見通しがついて新らしい年を迎えることになり，一層皆様の御協力と団結の強さを痛感致し，欣びに耐えない次第であります．

海外に於ける鮪の輸出進捗は本格的に世界の貿易の一般傾向と軌を一つにし，改めて調整を必要とすることとなり，先ず伊太利を初めとする，冷凍鮪の輸出対策はようやく，結論に達して参りました．又輸入の面では自由貿易の先駆として試験的の名目の下，漁船の燃料重油の免税措置が採られ，これ又一般的な業界の主導権が確立される見通しになりました．

行政の上では，特別法廃止後初めて大きく漁業許可方針の改訂が打出され，これを巡って目下，検討の最中であり，その成否は今後の動きと経過を見なければ判定を下し得ないところであります．

こと三崎の状態は漁業経営面の改善，合理化の一翼としてかねて研究の上，交渉を重ねて居りました全国初めての試みである固定給のある賃金体系を含む，労働協約が2ヵ年越しの経過を重ねて年末に締結され，船員各位の後顧の憂を除き安定した立場で，鮪漁業の発展と推進に進めることとなったことは共に喜びたい，特出した成果だと喜んで居ります．

このように鮪漁業界は昨年1年に大きな動きを示しましたがなお引続いて新らしい年に当って解決しなければならないものを残しました．この外にも根拠地である三崎では漁港の問題，又検疫指定の問題等幾多の懸案が進行中でありますので，業界内部の方々の一層の奮起と御鞭撻を賜わりますと共に一致協力した団結と御指導を御願いし，一般の皆様におかれましても温い御協力と御指導を重ねて懇願致しまして新年の御挨拶と致します．

謹賀新年

㊟ 住吉漁業株式会社

社長　四宮秀雄

神奈川県三浦市三崎町入舟62番地
電話（三浦）代表3181番

第 21 順光丸

賀　正

船　主	順光産業株式会社（三浦市）	
造船所	株式会社 金指造船所	
主要寸法		長27.30m×幅5.60m×深2.70m
総屯数		99.92屯
魚艙容積		107.03m³
燃料油艙		61.59m³
速　力		最大 9.83節
主　機	デーゼル320HP（赤阪鉄工）	1基
補　機	デーゼル48HP，20HP（ヤンマー）	各1基
無　線	100W（三崎無線電機）	2基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式 8R.T.	1基
レーダー（東計），M.C.P.（東計），磁気羅針儀（スタンド型卓上型）其の他		各1式
竣　工		昭和35年5月27日

漁船用中短波無線送受信装置
漁船用中短波無線電話装置
作製工事販売保守一式

合資会社 **三崎無線電**

本社・営業所　三浦市三崎町仲崎187
電　化　部　三浦市三崎町仲崎167
電　工　部　三浦市三崎町原3163
工　　　場　三浦市三崎町原660

クレモナ延縄

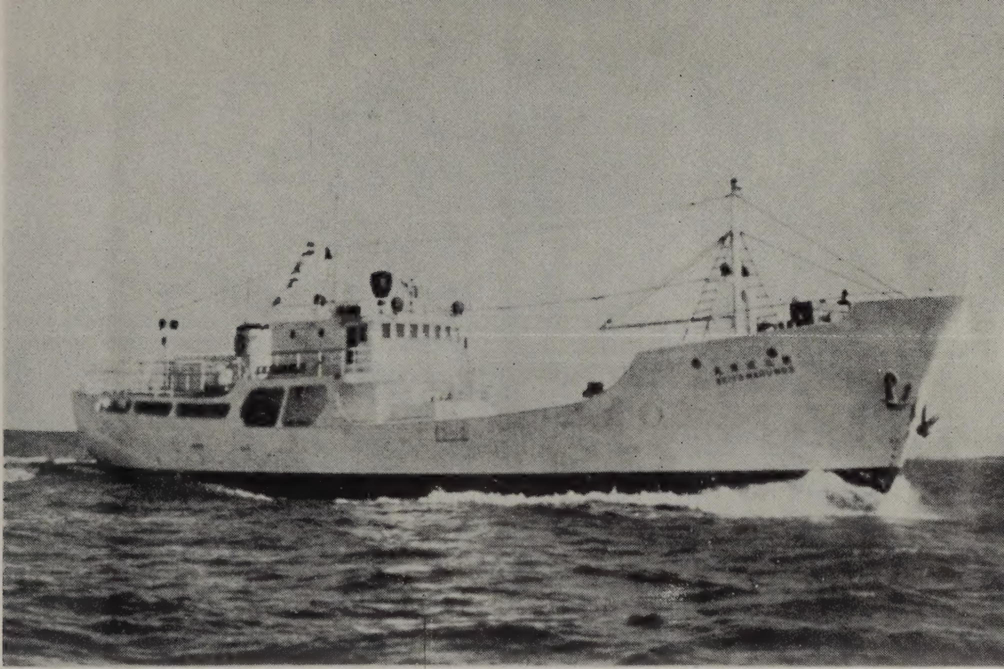
東京製綱

東京都中央区日本橋
電話東京（211）

各種鋼製漁船の建造並に修理

株式会社　金指造船所

本社工場　清水市三保4010—19　電話 清水(2)4111〜5
塚間工場　清水市三保弁天492　電話 清水(2)5151〜2
東京事務所　東京都港区芝田村町3ノ4　電話 芝(591)1306〜8
三崎出張所　三浦市三崎町西野34　電話（三浦）2851



元　旦　—1961—　　　第3成洋丸

船　主	大成水産株式会社
造船所	徳島造船産業株式会社
主要寸法	長36.30m×幅6.80m×深3.40m
総屯数	239.53屯
魚艙容積	260.25m³
燃料油艙	140.41m³
速　力	10.98節
主　機	デーゼル650HP過給機付（新潟）　1基
補　機	デーゼ80HP，64HP（ヤンマー）　各1基
無　線	250W，100W（三崎無線電機）　各1基
冷凍装置	アンモニア直膨式 7″ 1基，5″ 1基 40R.T.
	方探（光電），音測兼魚探（産研NTL型），操舵機（泉井式）其の他　各1式
竣　工	昭和35年3月28日

機工業所

電話（三浦）3431番
電話（三浦）2543番
電話（三浦）2864番
電話（三浦）2960番

装備船名

第21順光丸
第3成洋丸
第26全功丸
第8豊州丸
第28事代丸
第32大黒丸
第12福生丸
其の他

テトロン延縄

株式会社

室町2の8（古河ビル）
2851・2861番（代表）

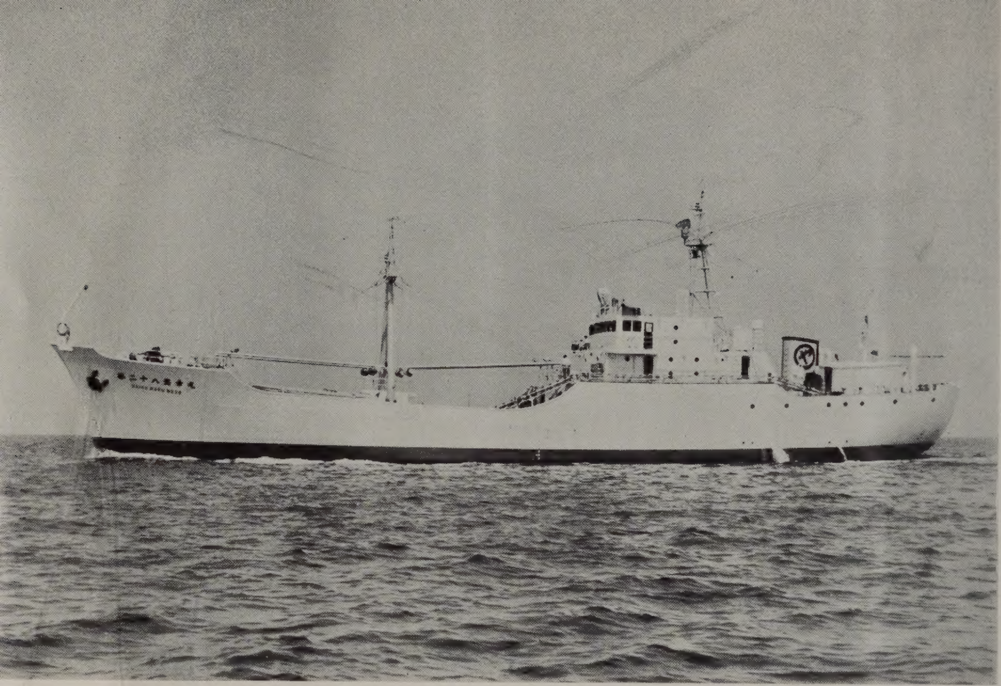
漁船の冷凍装置に定評ある

日新興業株式会社

本　社	大阪市北区中之島3の3（朝日ビル）	TEL. 北浜（23）9736（代表）
東京支店	東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）	TEL. 銀座（571）7607（代表）
室戸出張所	高知県室戸市室津	TEL. 室戸 352
清水出張所	清水市三保本村四区	TEL. 清水（2）3507
三崎出張所	神奈川県三浦市三崎町西野34	TEL. 三浦 2751
石巻出張所	宮城県石巻市門脇町104	TEL. 石巻 505

施工船名

第21順光丸
第38事代丸
第1七洋丸
第28海幸丸
第18万寿海丸
永芳丸
第8加喜丸
（其の他 約1.000隻）



第 28 海幸丸

賀 正

船主	柳下漁業株式会社
造船所	株式会社 新潟鉄工所
主要寸法	長50.70m×幅9.00×深4.35
総屯数	539.59屯
魚艙容積	630m³
燃料油艙	250m³
速力	最大 13.5節
主機	デーゼル 1,000HP(新潟鉄工) 1基
補機	デーゼル 200HP(〃) 2基
無線	500W, 100W (日本無線) 各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニ 7″×5½″×4 58R.T. 1基 ヤ直膨式 7″×5½″×3 43R.T. 2基
レーダー(日本無線), 方探(光電), 音響測深機	其の他 各1式
竣工	昭和35年8月12日

(NKK) 日本鋼管(株)

所 | 長

本社及造船営業部 東京都千代田区大手町
電話 (231) 7711・7722・
清水造船所 清水市三保
電話 (2) 代表
市外専用 2 3

1620型まぐろ用
鰹・鮪の単体の
汐目・プランクトン
大陸棚, 大洋台地の

海上電機

東京都千代田区神田錦町 1—19

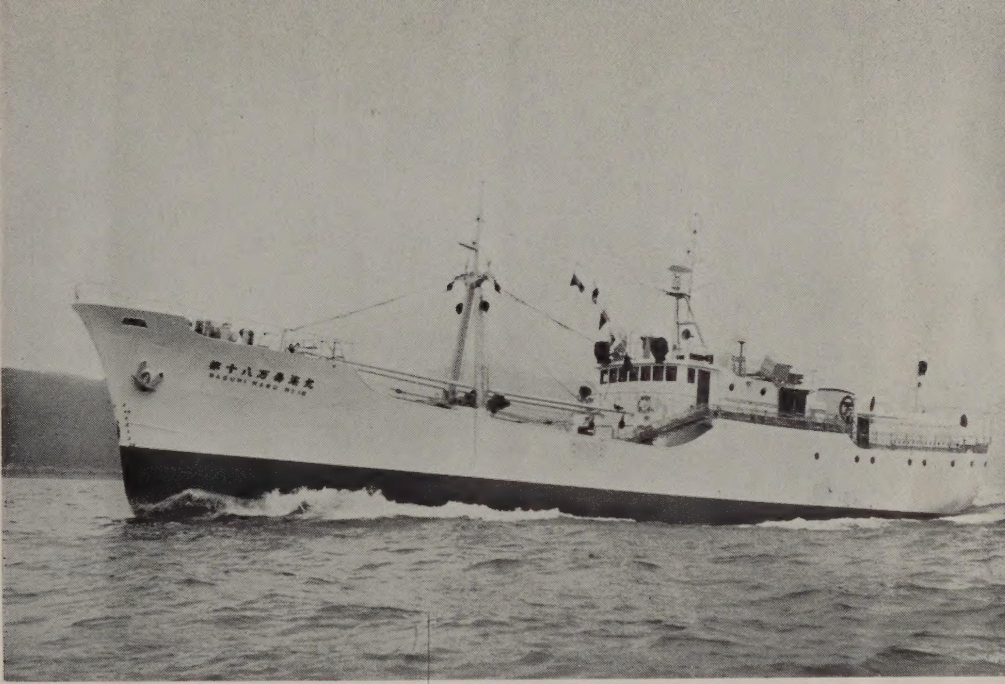
広くさがし, 鋭くつきとめる!

サンケンの2周波魚探機

ニュー・テレビグラフ

株式会社 産研

本社・工場 沼津市千本郷林1907(電)1626・4543・5470
営業所 東京都千代田区神田鍛冶町2—2 (電) 東京 (251) 0381・5444



元　旦 —1961—　　第 18 万寿海丸

船主	薄井梅夫（那珂湊市）
造船所	株式会社 三保造船所
主要寸法	長43.00m×幅7.80m×深3.75m
総屯数	339.97屯
魚艙容積	397.51m^3
燃料油艙	203.51m^3
速力	最大 12.69節
主機	デーゼル 800HP（赤阪鉄工）　1基
補機	デーゼル 130HP（新潟鉄工）　2基
無線	250W，75W（穂高通信）　各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式 7″×5½″×2 29R.T. 3基

レーダー(東京計器)，ローラン(光電)，方探(光電)，音測(産研NS型)，操舵機(川重) 其の他　各1式

竣工	昭和35年5月30日

清水造船所

高橋秀雄

1ノ2　東京貿易会館
7731・3571・1491（何れも代表）
塚間 3 9 5
1 2 1 1 番
— 2 4 番

魚群探知機

游泳状況探知（500m迄）
層の探知
海底地形調査（5000m迄）

株式会社

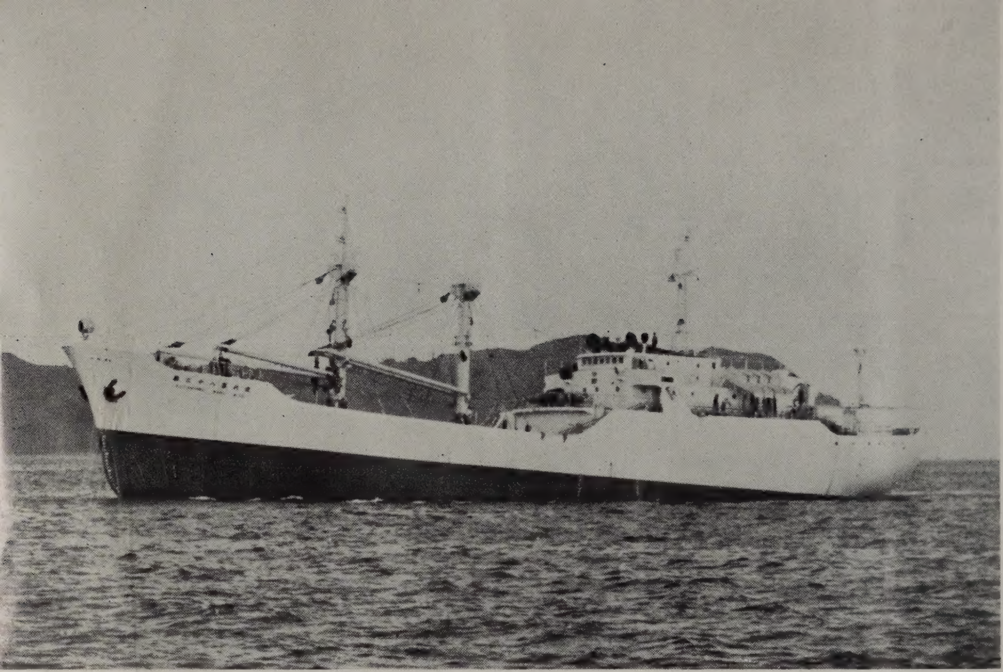
TEL．東京（291）2611〜3，8181〜3

鋼製漁船・貨物船・其の他各種船舶の建造並に修理

株式会社 三保造船所

本社 工場　静岡県清水市三保3797　電話清水(2)代表2201番

東京事務所　東京都中央区八重洲3の7（東京建物ビル）　電話 東京（281）代表6341番



第38　事代丸

賀　正

船主	事代漁業株式会社
造船所	株式会社　臼杵鉄工所佐伯造船所
主要寸法	長66.99m×幅11.90m×深5.30m
総屯数	1,200.85屯
魚艙容積	1,890m³
燃料油艙	530m³
速力	最大　14節
主機	デーゼル1,800HP（赤阪鉄工）　1基
補機	デーゼル　300HP（ヤンマー）　2基 165HP（　〃　）　1基
無線	500W，100W（穂高通信）　各1基
冷凍装置	日新興業設計施工　アンモニヤ直膨式 MB-6CN型 1基，MB-4CN型 2基
レーダー（東京計器），方探（光電），魚探（産研） 其の他　各1式	
竣工	昭和35年12月22日

倉敷レイヨ

本　社　大阪市北区
東京事務所　東京都中

東洋棉花

東京支社　食

東京都千代田区大手町1の2（東京貿

各種漁船用デイーゼル機関は定評ある
50馬力～5000馬力

株式会社　赤阪鉄工所

本社　東京都中央区銀座一ノ三（千成屋ビル）電話京橋（561）4902～3
北海道出張所　札幌市北区四条西六丁目（北洋ビル）電話（3）4507
大阪出張所　大阪市東区北浜四ノ三八　電話北浜（23）4790
工場　静岡県焼津市中港町五九四　電話（焼津）2121～5

元　旦　—1961—　　第1七洋丸

ン株式会社

梅田2（第一生命ビル内）
央区日本橋通リ3ノ1

株　式　会　社

品　部

場会館）　電話東京(230)大代表7211

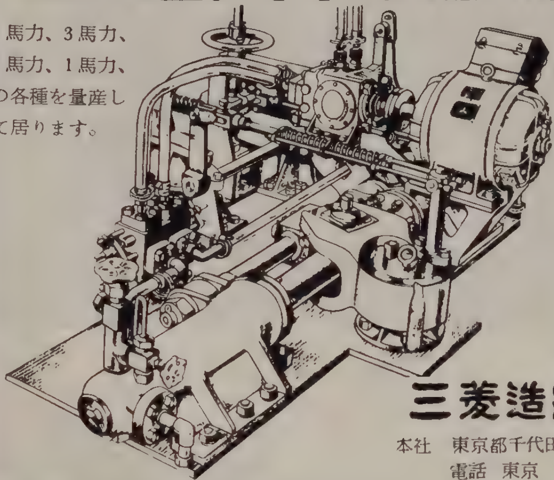
船主	七洋水産株式会社（三浦市）
造船所	株式会社 金指造船所
主要寸法	長48.00m×幅8.80m×深4.30m
総屯数	496.69屯
魚艙容積	767.15m³
燃料油艙	248.65m³
速力	最大 13.06節
主機	デーゼル 1,000HP（赤阪鉄工） 1基
補機	デーゼル 165HP（ヤンマー） 2基
無線	500W，100W（穂高通信） 各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式 55KW 43R.T. 3基 糧食庫用 F-12 0,75KW 1基
レーダー（神戸工業），方探（光電），音測（産研）， 操舵機（川重R-2型） 其の他 各1式	
竣工	昭和35年11月30日

高性能を誇る!!
鮪漁船用送受信機
穂高通信工業株式会社
本社及工場　東京都新宿区下落合一丁目六番地
電話落合(951)1136番（代表）

漁船用

三菱小型ジャネー式電動油圧舵取装置

5馬力、3馬力、2馬力、1馬力、の各種を量産して居ります。



商船及び艦艇用として多年絶対的信用を博している三菱ジャネー式舵取装置を漁船用として小型化したもので既に100台以上が漁船に取付けられ好評を得て居ります。

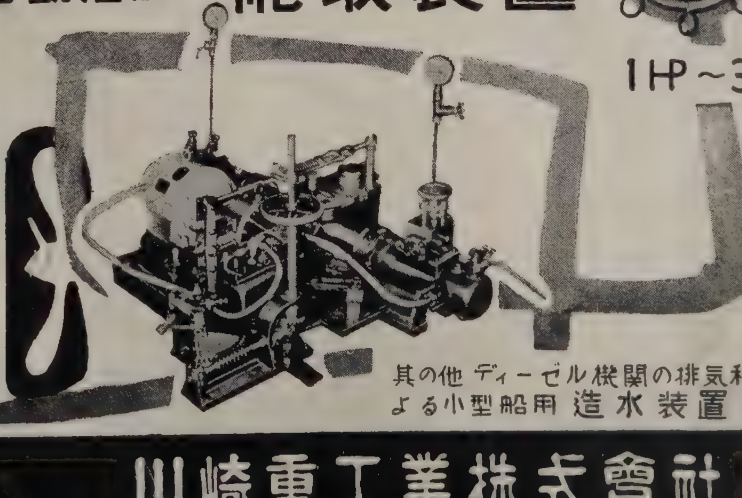
三菱造船株式會社

本社 東京都千代田区丸ノ内2の4（三菱本館）

電話 東京 (281) 代表5111．3111．0331

川崎ヘルショウ式 電動油圧 舵取装置

1HP～3HP



其の他 ディーゼル機関の排気利用による小型船用 造水装置

川崎重工業株式會社

神戸市生田区東川崎町二丁目一四（電）湊川(5)7531

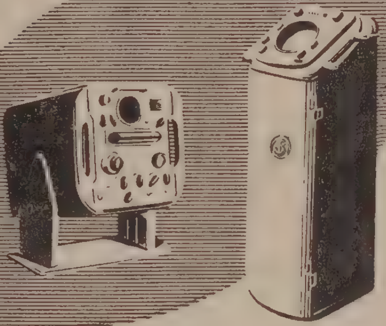
東京支店 東京都港区芝田村町一丁目（日比谷ビル）（電）(59) 6101

（本紙名記入の上御一報下さればカタログ御送附致します）

1961年 **謹賀新年** 元旦

能率的な航海は
信頼出来る計器で

スペリー式
マリン・レーダー
マリン・ロラン



株式会社東京計器製造所

本社工場 東京都大田区東蒲田4の31 電話(73) 2211～9
出張所及びサービスステーション 神戸・函館・長崎・横浜 名古屋・下関

宝幸水産株式会社

本　　社 東京都中央区築地1ノ24
三崎事業所 三浦市三崎町宮城5
電話三浦 2241・2307番

室戸岬船員同志会

会長 中谷清明
外職員一同

本部 高知県室戸市室戸岬 電話室戸260
出張所 横須賀市西浦賀町1の3 電話浦賀115，635

ハンシンディーゼル
船舶用・発電用・動力用65～4500IP

阪神三菱横浜可変ピッチプロペラ
製造・販売

阪神内燃機工業株式会社

取締役社長 小曽根真造

本社工場 神戸市長田区一番町3丁目 電話(5)1531―6
東京支社 東京都千代田区丸ノ内丸ビル電話(201)3640―1
下関出張所 下関市豊前田町第一ビル 電話下関768

ディーゼル・エンジン 補機50PS 主機3500PS

株式会社 伊藤鉄工所

取締役会長 山本善雄

本社工場 清水市静開139 電話(2)2141―5
東京支店 東京都丸ノ内岸本ビル 電話(281)8151―3
大阪営業所 大阪市北区大ビル 電話(44)3550
代理店 住友商事株式会社

1961年　**謹 賀 新 年**　元 旦

船出の支度
石油は出光で

安全快適な航海の為に是非・・・・

出光興産株式会社

本　社　東京・銀座東四丁目
三崎出張所　三浦市三崎町海南　電話三浦3432・2797

専売特許
ＰＣＣ
石炭重油添加剤
ファインコーク
耐熱伸縮性充塡剤

日本添加剤工業株式会社

本社工場　東京都板橋区志村前野町884電話東京(961)1738・7737番
営業所　東京都千代田区神田旭町2（大蕃ビル）電話東京(251)(代表)9136番(直通)7910番
大阪支店　大阪市西区江戸堀北通1　電話大阪(44)5551—5555番
（富士産業株式会社　川崎市浜町1ノ36　電話川崎(2)4403番

東レイのナイロン・テトロン枝縄

強靱繊維興業株式会社

東京都中央区日本橋芳町2ノ2　電話茅場町(661)2596・4038番
工場　埼玉県久喜町久喜新1300　電話（久喜）50・134番

縄成りと漁獲率の最も優れた………
特許　海光延縄　（ビニール被覆鉛心入）

株式会社　**海光社水産研究所**

代表者　林　寿

本　社　東京都新宿区神楽坂2ノ16　電話(331)2090番
工　場　愛知県宝飯郡形原町

安立電氣株式會社

本　社　東京都港区麻布富士見町39　電話東京(473)2131(代表)2141(代表)
神戸営業所　神戸市生田区栄町通5—19　電話元町(4)3614（代表）
出張所　下関・戸畑・長崎・福岡・札幌

農林省水産講習所

滄溟会

下関市吉見永田本町1944

漁船保険中央会

東京都港区芝田村町3ノ4清寿ビル
電話（591）0667番（会長室）
3276—7番

マグロ漁況週報 1960年 10月上旬　■は75匹以上、■は31匹から75匹まで、□は31匹以下を示す。　また上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲を数で示す

（概況）

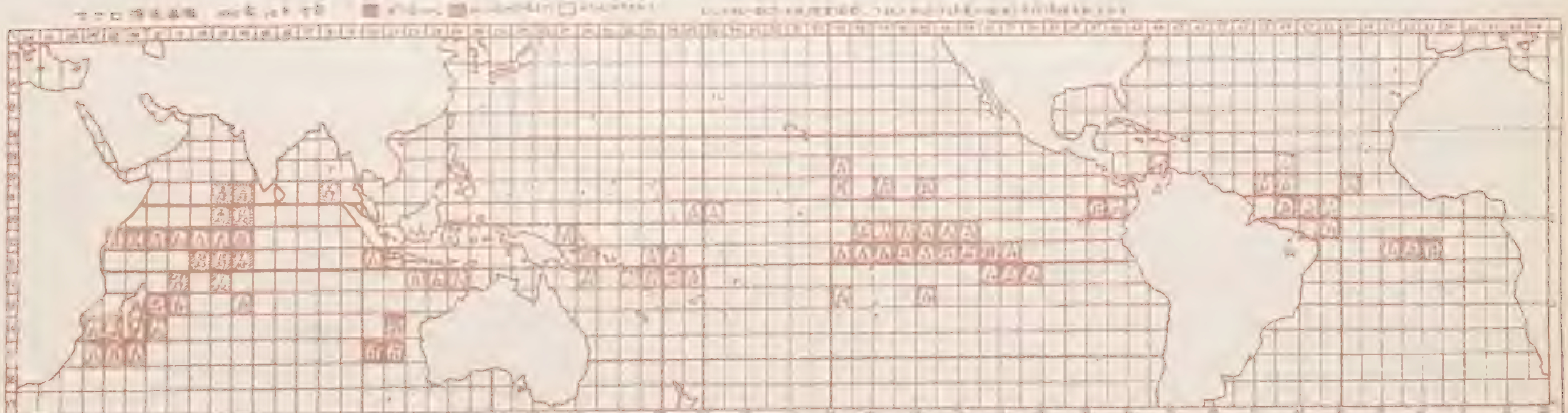
中印　9月にくらべ漁獲3.1匹以上の海区がふえた。E65°以西では

三崎無線局扱へイグロ漁船
海域別操業状況（隻数）

（概況）

太平洋東部　この海域の主漁場は本年4月が0°〜S10°、5月N10°〜S10°、6月N10°〜0°と北へ移動し、その後は9月までN10°〜0°（中でもN10°〜N5°が多かった）が続いていたが、今旬になって南へ拡がりN10°〜S10°で操業が行はれた。漁況は0°以北より以南の方がやゝ良い。

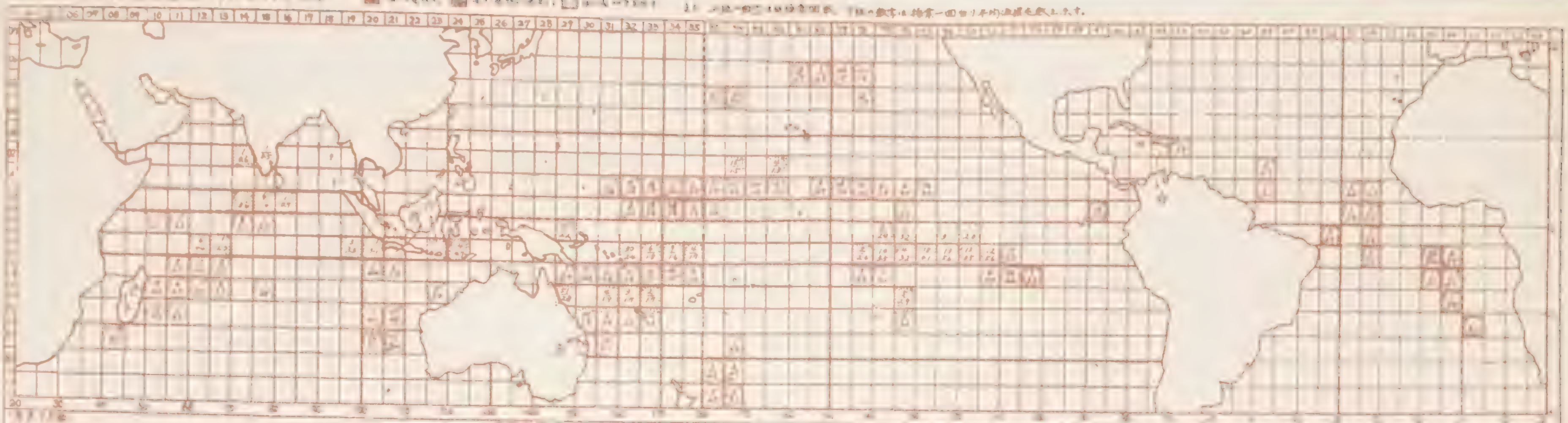
魚種組成は海区によって多少相異がある。（佐藤 泰典）



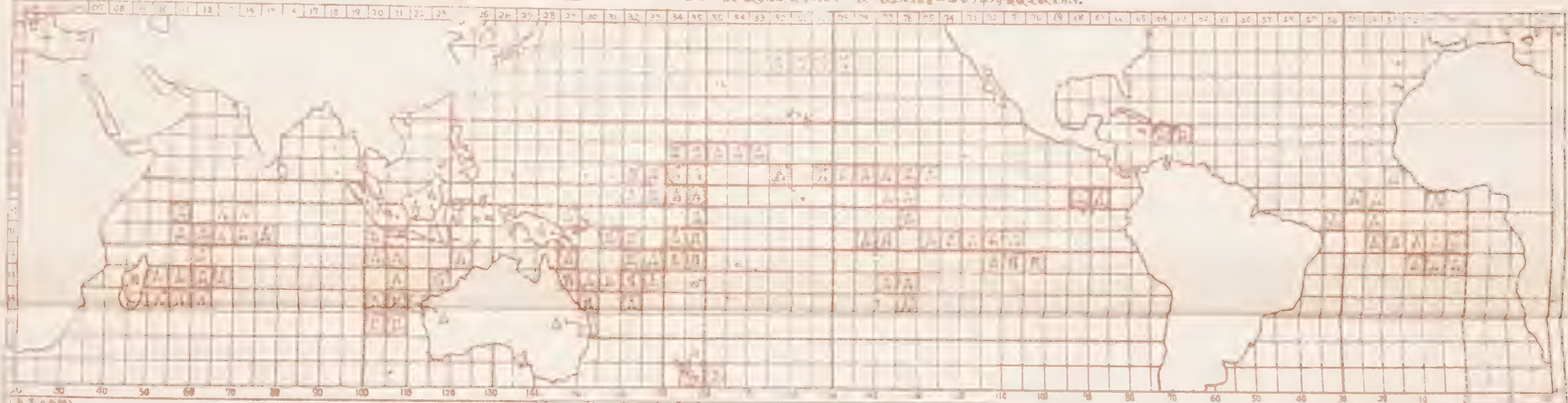
（概況）

示している。表面水温 22.4〜24.9

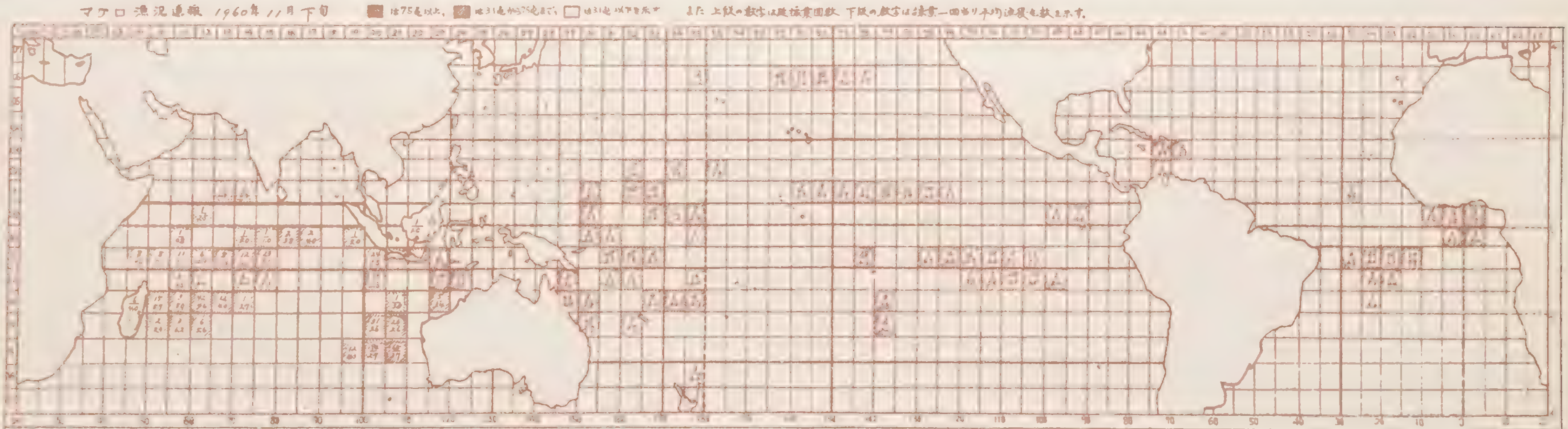
主漁獲物はメバチである。



マグロ漁況速報 195_年11月中旬　■は75匙以上、▨は31匙から75匙まで、□は31匙以下を示す　また上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲匙数を示す。



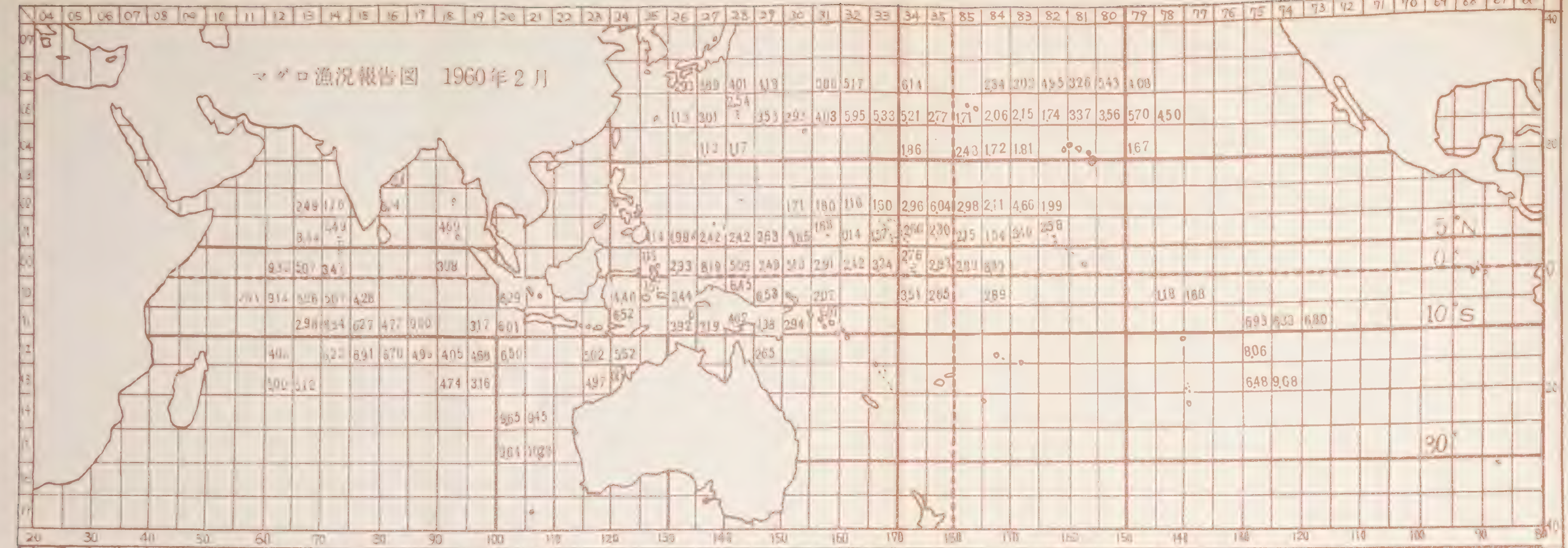
マグロ漁況速報 1960年11月下旬　■は75匙以上、▨は31匙から75匙まで、□は31匙以下を示す　また上段の数字は延操業回数　下段の数字は操業一回当り平均漁獲匙数を示す。

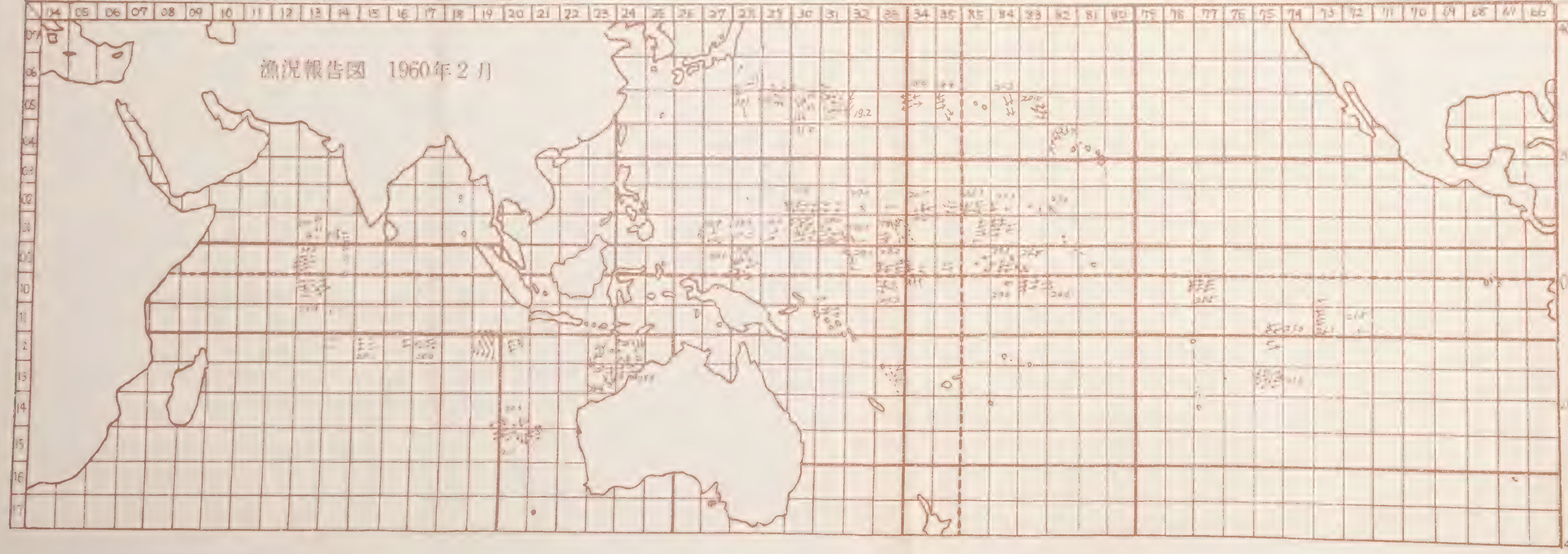


印度洋　中印E80°以西ではS5°以北は殆んど漁獲が無い。
濠西 1420.1520.1421.1521 のインドマグロは今旬更に減少した。

太平洋　東部、漁場はN5°以北とS5°以南とに分かれている。南部では漁場が次第に東へ伸び、又東へ寄る程漁獲が高い。

大西洋　毎月漁場が移動していたが　今旬に至って黄金海岸（1月～5月好漁場であった）において操業が行はれた。


マグロ漁況報告図　1960年2月
5°N
0°
10°S
20°


漁況報告図　1960年2月

1960年2月におけるマグロ漁場の漁況と海況の概要

（南水研，神水試，鮪漁業研究会委託調査船362隻の資料による）

Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing Ground in Feb. in 1960.

(By the data collected from the 362 appointed boats)

◎ 漁況報告の整理及び発表方法の変更について

——神奈川県水産試験場，鮪漁業研究会——

マグロ類漁場別月別別漁況報告のとりまとめ方法については，従来随時改良していたが，著しく変更することはなかった．それは，様式方法を変更することにより過去の結果とその後の結果を結び合わすことが困難となること，従来の様式や方法に比較的なれており，これを変更することにより混乱を招くこと及び新方法に対する処理能力が追いつかないにと等が主な理由であった．

しかし，従来の取纒め海区は漁場の分布と殆んど無関係で，各漁場の真の漁況を究めることが困難であり，また，海区をより小さくし，細部の漁況について報告されたいとの業者の再三の要望もあり1960年（昭和35年）1月分より，整理及び発表方法を次の様に変更した．

(1) 漁獲状況については，緯，経度5度ます毎に釣獲率（鈎100本当りの漁獲尾数）を算出し，その小海区毎に発表する．

(2) 経費の都合で魚種毎に図示することが困難なため，体長組成の対象魚種にバショウを加えた総釣獲率をマグロ漁況報告図に図示する．

(3) 海況については，海流と表面水温を記入して，海況報告図として別図に示した．

(4) 魚種毎の釣獲率は漁獲調査表に示す．

(5) 体長組成は大漁場毎（漁況予報参照）に整理し，体長組成表に表示す．階級間隔は従来と同様10cmとする．

漁場区画図

1. 鮪類の月別，海区別漁獲表（1960年2月操業分）

（漁獲は，釣獲率（鈎100本当りの漁獲尾数）で示す．海区番号は漁場図参照．漁場名は速報参照．）

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	めばち	びんなが	くろまぐろ	いんど	ごうしゅう	かじき くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう	計
東部太平洋第1漁場														
06—79	5	14	0.11	3.90	0.01				0.00		0.02	0.03		4.08
05—79	2	9	0.12	5.48	0.01	0.01			0.01		0.05	0.03		5.70
04—79	1	3	0.49	1.09							0.04	4.00		1.67
05—78	1	1	0.19	4.19							0.13			4.50
東部太平洋第3漁場														
10—78	1	1	0.10	0.62					0.10			0.05		1.18
10—77	1	10	0.52	0.59	0.01				0.28	0.01	0.05	0.08	0.16	1.68
11—75	1	3	0.48	1.47	4.42				0.52	0.03	0.02			6.93
11—74	1	7	0.31	1.96	3.59				0.46	0.02				6.33
11—73	1	15	1.10	4.08	1.30				0.23	0.01	0.04	0.03	0.02	6.80
東部太平洋第4漁場														
12—75	2	6	0.43	0.94	6.20				0.43	0.03		0.01	0.04	8.06
13—75	1	10	0.42	0.16	5.01				0.87	0.01	0.01			6.48
13—74	1	2	0.33	0.28	7.50				0.95			0.03		9.08
中部太平洋第1漁場														
06—34	3	20	0.04	0.19	5.82		0.01		0.01		0.04	0.04		6.14
05—34	9	51	0.04	0.23	4.08	0.00			0.02	0.00	0.06	0.06	0.00	5.21
05—35	8	44	0.07	0.32	2.26	0.00			0.01		0.04	0.07		2.77
04—34	1	1	0.07	0.93					0.07		0.79			1.86
05—85	5	9	0.31	0.74	0.38				0.02		0.21	0.05		1.71
0 —85	2	2		1.45					0.28		0.76			2.48
06—84	1	3	0.03	1.40	0.76				0.02		0.03	0.10		2.34
05—84	14	43	0.40	1.04	0.38				0.01		0.14	0.07	0.00	2.06
04—84	12	72	0.41	1.13					0.03	0.00	0.14	0.01		1.72
06—83	1	1		1.28	0.20						0.54			2.02
05—83	21	81	0.35	1.16	0.39	0.00			0.00	0.00	0.09	0.15		2.15
04—83	13	78	0.35	1.25	0.00				0.03	0.00	0.13	0.02		1.81
04—82	6	25	0.46	0.89					0.03		0.15	0.01		1.54
05—82	21	190	0.11	1.40	0.10				0.00	0.00	0.03	0.07	0.02	1.74

漁場 又は海区	操業 船数	操業 回数	まぐろ きはだ	めばち	びんなが	くろまぐろ	いんど	ごしゅう	かじき くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう	計
06—82	6	17	0.05	4.08	0.55				0.00		0.07	0.19		4.95
06—81	5	16	0.13	2.82	0.09				0.00		0.08	0.13		3.26
05—81	5	14	0.60	2.53	0.07				0.00	0.00	0.07	0.05		3.37
06—80	4	19	0.07	5.25	0.00				0.00		0.06	0.05		5.43
05—[illegible]	4	6	0.13	3.31	0.00						0.05	0.07		3.56
中部太平洋第2漁場														
02—34	17	99	0.63	1.98	0.00				0.21	0.00	0.03	0.01	0.09	2.96
01—34	2	6	1.06	1.45					0.14		0.01			2.66
02—35	19	136	1.23	4.29	0.01	0.02			0.34	0.01	0.06	0.01	0.08	6.04
01—35	5	11	0.84	1.27					0.15		0.02		0.02	2.30
02—85	23	176	0.80	1.94	0.00				0.15	0.01	0.03	0.01	0.04	2.98
01—85	5	20	1.17	0.77	0.01				0.14	0.03	0.00		0.03	2.15
02—84	8	27	0.20	1.74					0.11	0.00	0.04		0.02	2.11
01—84	3	3	0.34	0.97					0.18		0.02	0.02		1.54
02—83	7	32	0.71	3.60					0.18	0.00	0.16			4.66
01—83	2	7	0.35	2.61					0.16		0.37			3.49
01—82	2	22	0.30	2.00					0.17	0.00	0.08	0.01	0.01	2.58
02—82	2	8	0.08	1.55					0.17	0.02	0.18			1.99
中部太平洋第3漁場														
00—34	3	12	2.16	0.45					0.14	0.00	0.00			2.76
10—34	1	6	2.95	0.38	0.04				0.10	0.02		0.02		3.51
00—35	2	5	2.09	0.64					0.10	0.01				2.83
10—35	1	7	1.90	0.46	0.02				0.19	0.01	0.01	0.04	0.01	2.65
00—85	7	50	2.06	0.65	0.00				0.13	0.01	0.01	0.01	0.01	2.89
00—84	6	41	3.13	0.62	0.00				0.10	0.01	0.01	0.01	0.01	3.89
10—84	1	4	2.38	0.42					0.10					2.89
西部太平洋第1漁場														
06—26	1	1	0.36		2.50							0.07		2.93
05—26	2	3	0.26	0.06	0.77						0.02	0.02		1.13
06—27	25	117	0.15	0.20	3.46	0.00			0.01		0.04	0.03		3.89
05—27	8	13	0.12	0.69	2.16				0.01		0.03	0.01		3.01
04—27	1	7	0.07	0.88	0.02						0.05	0.10		1.12

漁場又は海区	操業隻数	操業回数	まぐろ きはだ	めばち	びんなが	くろまぐろ	いんど	ごうしゅう	かじき くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう	計
06—28	29	178	0.11	0.21	3.62	0.00			0.01	0.00	0.02	0.05		4.01
05—28	17	51	0.09	0.16	2.20	0.00			0.00		0.03	0.05		2.54
04—28	3	21	0.40	0.51	0.13				0.00	0.01	0.08	0.04		1.17
06—29	1	1	0.26	0.07	3.86									4.18
05—29	18	193	0.07	0.09	3.30	0.01			0.00		0.02	0.00		3.53
06—31	1	1	0.05	0.01	0.77							0.03		0.86
05—30	18	197	0.04	0.10	3.71	0.00			0.00		0.02	0.05	0.00	3.93
05—31	12	79	0.07	0.14	3.73	0.00			0.00	0.00	0.06	0.00		4.03
06—32	4	21	0.04	0.18	4.86				0.01		0.07	0.01		5.17
05—32	6	34	0.06	0.15	5.63	0.00			0.01		0.05	0.05		5.95
05—33	2	6	0.23	3.11	1.71				0.01		0.11	0.16		5.33
西部太平洋第2漁場														
01—25	1	1	0.40	0.63					0.06				0.06	1.14
01—26	2	28	0.62	1.26					0.04	0.00	0.01	0.02	0.03	1.98
01—27	4	19	1.33	0.89					0.09	0.00			0.10	2.42
01—28	9	36	1.50	0.74	0.00				0.10	0.01				2.42
01—29	6	33	1.51	0.90	0.01				0.07	0.01	0.00	0.01	0.11	2.63
02—30	10	41	0.84	0.72	0.01				0.10	0.00	0.02		0.02	1.71
01—30	14	66	0.82	0.91	0.00				0.09	0.00	0.01	0.00	0.02	1.86
02—31	13	50	0.60	0.96	0.06				0.14	0.00	0.02	0.01	0.01	1.80
01—31	19	86	0.78	0.71	0.01				0.12	0.00	0.00	0.00	0.05	1.68
01—32	9	41	0.04	0.10					0.01				0.00	0.14
02—32	8	40	0.36	0.52	0.03				0.20	0.00	0.03	0.00	0.02	1.16
02—33	14	65	0.30	0.98	0.06				0.21	0.01	0.02	0.00	0.02	1.60
01—33	10	40	0.36	1.02	0.00				0.13	0.01	0.01	0.01	0.03	1.57
西部太平洋第3漁場														
00—25	2	9	1.25	0.39					0.08	0.03		0.02	0.11	1.88
00—26	1	2	1.86	0.86					0.11				0.11	2.93
00—27	3	17	7.25	0.44	0.11				0.22	0.01		0.02	0.15	8.19
00—28	15	117	4.46	0.42	0.00	0.01			0.09	0.01		0.02	0.09	5.09
10—28	6	45	5.53	0.27	0.14				0.09	0.02	0.00	0.37		6.45
11—28	1	5	4.27	0.17	0.01				0.13	0.02		0.01		4.62

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	めばち	びんなが	くろまぐろ	いんど	ごうしゅう	かじき くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう	計
00—29	1	1	1.94	0.21					0.07				0.28	2.49
10—29	11	90	5.81	0.21	0.03	0.00			0.13	0.03	0.00	0.01	0.32	6.53
11—29	1	1	1.00	0.31					0.19	0.06				1.38
00—30	6	51	4.33	0.54	0.02				0.15	0.00		0.00	0.08	5.13
11—30	2	5	2.44	0.14					0.30	0.03		0.02		2.94
11—31	1	9	6.21	0.40					0.11	0.03			0.23	6.97
00—31	2	12	2.24	0.38	0.01				0.18	0.02			0.10	2.91
10—31	1	2	1.68	0.25					0.07	0.07				2.07
00—32	5	21	1.74	0.41	0.03				0.16	0.02			0.07	2.42
00—33	7	50	2.66	0.40	0.01				0.14			0.01	0.12	3.34
西部太平洋第4漁場														
12—29	1	3	1.77	0.06	0.50				0.25	0.02		0.04		2.65
スンダ列島漁場														
11—20	3	7	2.66	1.02	1.72		0.18		0.23	0.09	0.02	0.02	0.06	6.01
10—20	1	1	4.05	1.76	0.24				0.14	0.10				6.29
10—24	5	19	3.53	0.59					0.06	0.10	0.02	0.02	0.15	4.46
11—24	4	22	5.41	0.90					0.03	0.11	0.01	0.01	0.06	6.52
10—25	5	25	2.63	0.58					0.09	0.11	0.01	0.01	0.15	3.57
10—26	1	6	1.49	0.68					0.09	0.07	0.01	0.01	0.10	2.44
11—26	2	13	0.09	0.04					0.17	3.29	0.34			3.92
11—27	1	1	0.90	0.90					0.13	0.26				2.19
東部印度洋漁場														
12—20	8	17	1.39	0.59	3.28	0.83	0.03		0.18	0.12	0 02	0.03	0.02	6.50
14—20	6	15	0.06	0.02	1.13		8.35		0.00	0.02	0.05	0.01		9.65
15—20	21	192	0.05	0.05	1.15	2.10	6.22		0.01	0.02	0.02	0.01		9.64
14—21	1	2	0.13		0.53		8.68			0.08		0.03		9.45
15—21	9	30	0.10	0.05	0.92	5.11	4.01		0.01	0.03	0.02	0.03		10.28
12—23	4	25	0.67	0.54	1.39	2.12	0.07		0.09	0.09	0.02	0.02	0.02	5.02
13—23	2	23	0.99	0.15	0.96		2.33		0.25	0.25	0.02	0.02	0 00	4.97
12—24	4	16	2.32	0.39	0.37	1.17	1.13		0.10	0.11	0.01	0.02		5.62
13—24	1	1	5.70		0.75				0.10	0.20				6.75

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	めばち	びんなが	くろまぐろ	いんど	ごうしゅう	かじき くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう	計
北部印度洋漁場														
01—13	3	17	1.28	1.10					0.60	0.04	0.27	0.02	0.14	3.44
02—13	5	14	0.74	0.12	0.03				0.75	0.09	0.43	0.00	0.06	2.49
02—14	1	1	0.09	0.04					0.44	0.09	0.44	0.04		1.16
01—14	2	10	0.65	0.39					1.04	0.05	0.22	0.04	0.10	2.49
03—16	1	1	0.27	0.05					0.27		0.54	0.11	0.76	2.01
02—16	2	6	4.66	0.32					0.26	0.08	0.40		0.72	5.74
01—18	1	3	2.45	1.83					0.24	0.13		0.05		4.69
中部印度洋漁場														
10—11	2	6	6.84	0.71	0.15				0.07	0.01	0.06	0.10	0.08	8.01
00—12	1	7	8.01	1.00	0.11				0.05	0.02	0.04	0.01	0.08	9.32
10—12	3	10	7.90	0.82	0.09				0.07	0.04	0.04	0.03	0.14	9.14
00—13	6	42	4.17	0.38	0.01				0.17	0.05	0.15	0.02	0.12	5.07
10—13	7	47	4.57	0.74	0.24				0.12	0.05	0.14	0.01	0.10	5.96
11—13	1	3	2.12	0.54	0.04				0.02	0.04	0.04	0.06	0.13	2.98
00—14	1	2	2.28	0.40					0.12	0.05	0.37		0.19	3.40
11—14	4	17	5.65	1.54	1.25				0.27	0.04	0.08	0.00	0.02	8.84
10—14	7	26	3.36	0.90	0.25				0.26	0.06	0.18	0.01	0.06	5.07
11—15	3	10	3.83	1.13	1.00				0.19	0.04	0.05	0.01	0.02	6.27
10—15	2	6	3.03	0.67	0.13				0.24	0.02	0.12	0.05	0.04	4.28
11—16	2	3	2.62	1.13	0.58				0.24	0.06	0.09		0.06	4.77
11—17	1	6	4.28	1.21	4.04				0.20	0.05	0.01			9.80
00—18	1	6	2.79	0.84					0.20	0.07	0.04	0.03		3.98
11—19	2	5	1.32	1.24	0.38				0.11	0.05	0.00	0.01	0.05	3.17
南部印度洋漁場														
13—11	1	9	1.61	0.02	2.96				0.41	0.03	0.02	0.02	0.04	5.12
12—12	1	1	0.52	0.10	2.67				0.33	0.10	0.10	0.10	0.10	4.00
13—12	1	2	0.64	0.04	3.87				0.38	0.04	0.02		0.02	5.00
12—14	5	60	1.83	0.38	3.62				0.23	0.07	0.05	0.02	0.02	6.22
12—15	5	20	2.52	0.80	3.22				0.25	0.05	0.04	0.01	0.01	6.91
12—16	4	34	1.11	0.56	4.54				0.32	0.08	0.05	0.02	0.02	6.70

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	まぐろ めばち	まぐろ びんなが	まぐろ くろまぐろ	まぐろ いんど	まぐろ ごうしゅう	かじき くろかわ	かじき しろかわ	かじき まかじき	かじき めかじき	かじき ばしょう	計
12—17	3	13	0.74	0.25	3.48				0.34	0.10	0.05	0.00	0.03	4.99
13—18	1	2	0.97	0.08	3.05				0.42	0.21				4.74
12—18	1	1	0.45	0.45	2.80				0.30		0.05			4.05
15—19	1	1	0.67	2.00	0.10				0.10				0.10	2.96
13—19	1	1	1.05	0.11	1.68				0.26	0.05				3.16
12—19	7	12	0.84	0.33	3.08	0.06	0.03		0.14	0.07	0.01	0.01	0.03	4.60

謹賀新年

昭和36年元旦

極洋捕鯨株式会社

取締役社長　法華津　孝　太

東京都千代田区丸の内2丁目20番地1　電話（281）4621—5（代表）

柳下漁業株式会社

取締役社長　柳下弥三郎

本　社　東京都中央区八丁堀1ノ3　電話（551）7583—4番

神奈川県三浦市三崎町花暮136

電話三浦3403・2525番

2. 鮪類の月別，漁場別体長組成表（1960年２月操業分）

（組成の数字は百分率で示す。漁場名は速報海区の分類参照。）

魚種	漁場	船数	50cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171cm以上	計
きはだ	東太 3	1						13.8	20.2	6.4	17.0	24.5	14.9	2.1		1.1	100.0
	東太 4	1											50.0	42.9	7.1		100.0
	中太 1	9				0.5		0.9	2.3	8.8	26.3	33.4	12.7	9.0	2.6	3.5	100.0
	中太 2	6				0.2	0.5	0.7	0.7	8.0	30.7	46.1	11.7	1.1		0.2	100.0
	中太 3	1							5.3	10.5	42.1	36.8	5.3				100.0
	中太 4	1						0.7	2.0	25.0	40.8	24.3	6.6	0.7			100.0
	西太 1	1								50.0	50.0						100.0
	西太 2	3							4.3	8.1	52.9	28.1	5.7	1.0			100.0
	西太 3	6					0.2	14.7	18.3	2.3	18.4	15.2	1.5	0.5	0.2	28.7	100.0
	スンダ	1					48.7	10.7	7.7	19.2	7.7						100.0
	東印	5					10.1	30.2	5.4	13.9	19.7	15.6	4.7	0.4			100.0
	北印	1								15.4	15.4	48.7	17.9	2.6			100.0
	中印	3								14.2	31.5	42.5	10.2	0.8		0.8	100.0

魚種	漁場	船数	60cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181cm以上	計
めばち	東太 3	1				0.6	2.4	2.4	7.9	20.0	12.7	26.1	12.1	13.3	1.2	1.2	100.0
	東太 4	1								1.1	4.3	26.6	26.6	20.2	10.6	10.6	100.0
	中太 1	9		0.2	0.3	1.7	10.7	3.7	3.8	13.8	19.1	8.2	9.4	11.1	14.1	3.7	100.0
	中太 2	0				1.6	8.6	5.5	6.7	12.8	28.2	17.5	8.4	6.7	3.7	0.2	100.0
	中太 3	1					4.4	2.9	8.8	13.2	32.4	20.6	13.2	4.4			100.0
	中太 4	1				1.0	2.0	12.2	11.2	20.4	19.4	16.3	11.2	6.1			100.0
	西太 1	1		4.0	12.0					16.0	12.0	8.0	16.0	16.0	16.0		100.0
	西太 2	4					1.3	2.2	7.0	10.9	29.8	17.1	13.1	11.6	6.1	0.9	100.0
	西太 3	4				16.7	10.2	3.7	23.1	24.1	17.6	4.6					100.0
	スンダ	1							30.8	23.1	30.8	15.4					100.0
	東印	4		0.9		3.5	12.3	11.4	18.4	22.8	22.0	7.9	0.9				100.0
	北印	1					6.7	13.3	5.0	23.3	21.7	10.7	11.7	1.7			100.0
	中印	3						0.4	4.8	12.6	27.2	19.0	21.2	10.4	3.5	0.9	100.0
	南魚	3					0.6	3.7	6.7	6.7	21.3	36.6	22.6	1.8			100.0

魚種	漁場	船数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121cm以上	計
びんなが	中太 1	5						11.5	26.6	45.9	7.3	8.7	100.0
	中太 2	3					6.4	46.8	17.0	17.0	12.8		100.0

魚種	漁場	船数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	90—100	101—110	111—120	121cm以上	計
びんなが	西太 1	2					0.3	44.2	32.3	19.6	3.6		100.0
	西太 3	1							100.0				100.0
	東印	1						23.5	72.4	4.1			100.0

魚種	漁場	船数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計
いんど	中太 2	1			40.0	60.0											100.0
	東印	7	0.7	1.9	19.6	33.0	30.8	10.9	2.3	0.5	0.3						100.0

魚種	漁場	船数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	210—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計
こしゅうちう	中太 3	1		1.2	12.9	42.4	24.7	11.8	4.7	2.4							100.0

魚種	漁場	船数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計
くろかわ	東太 3	1	6.6	6.6	11.5	11.5	8.2	13.1	16.4	9.8	4.9	3.3	1.6	1.6	3.3	1.6	100.0
	東太 4	1				3.6	28.6	32.1	18.8	4.5	4.5	1.8	4.5	0.9	0.9		100.0
	中太 1	8	1.3	3.3	6.7	6.7	20.7	10.7	11.3	8.7	10.0	6.7	4.7	2.7	2.0	4.7	100.0
	中太 2	6	1.7	2.1	14.1	23.2	22.4	11.6	5.4	6.6	3.7	2.9	3.7	1.7	0.8		100.0
	中太 3	1		7.3	7.3	17.1	24.4	7.3	7.3	7.3	9.8	9.8	2.4				100.0
	中太 4	1	3.0	3.0	3.0	18.2	21.2	21.2	15.2	3.0		6.1	3.0			3.0	100.0
	西太 2	5	6.4	11.0	17.0	17.8	26.7	3.8	3.0	3.0	2.5	1.7	1.7	2.5	0.8	2.1	100.0
	西太 3	2		2.9	5.7	20.0	31.4	17.1	5.7	5.7			8.6			2.9	100.0
	東印	3	4.4	4.4	11.1	20.0	24.4	8.9	2.2	4.4	2.2	6.7	4.4	2.2	2.2	2.2	100.0
	北印	1			8.8	14.7	14.7	38.2	8.8	5.9	2.9	5.9					100.0
	中印	2		1.1	2.2	4.3	26.9	18.3	10.8	7.5	11.8	8.6	3.2	1.1	3.2	1.1	100.0
	南印	1						16.7	41.7	8.3		8.3		16.7	8.3		100.0

魚種	漁場	船数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計
しろかわ	東太 4	1			2.0	17.6	39.2	27.5	7.8	3.9						2.0	100.0
	中太 1	4			9.1	27.3		9.1	27.3	9.1	9.1					9.1	100.0
	中太 2	3				4.2	8.3	33.3	33.3	8.3		4.2			4.2	4.2	100.0
	西太 2	2				33.3					16.7		16.7			33.3	100.0
	西太 3	1							50.0	25.0		25.0					100.0
	東印	3	15.9		3.2	11.1	3.2	6.3	6.3	23.8	11.1	9.5	6.3	3.2			100.0
	中印	1			20.0		60.0	20.0									100.0
	南印	1		28.8	33.9	10.2	6.8	3.4	5.1	5.1	1.7	3.4	1.7				100.0

魚種	漁場	船数	100cm以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221cm以上	計
まかじき	中太 1	6		10.1	26.6	23.7	20.1	11.2	5.3	1.4		0.7	0.7			0.4	100.0
	中太 2	2			11.1	16.7	22.2	38.9	11.1								100.0

魚種	漁場	船数	100cm以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221cm以上	計
まかじき	西太 1	1				12.9	51.6	32.3	3.2								100.0
	西太 2	3			4.3	19.4	23.7	29.0	20.4	3.2							100.0
	東印	1				25.0	50.0	25.0									100.0
	中印	1				25.0	50.0	25.0									100.0

魚種	漁場	船数	80cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201cm以上	計
めかじき	中太 1	7	5.2	1.3	5.9	9.2	7.8	7.8	7.8	5.2	7.8	3.3	4.6	3.3	8.5	22.2	100.0
	中太 2	2		16.7							16.7			16.7	33.3	16.7	100.0
	西太 1	1						3.6		3.6			10.7	17.9	7.1	57.1	100.0
	西太 2	1							50.0				50.0				100.0
	東印	1	36.4	9.1			4.5					4.5	22.7	4.5	4.5	13.6	100.0
	中印	1									100.0						100.0

会員リポート
1960年2月分

濠洲スチーヴ岬西方海域における魚体について

夏目米二・福井由市（11信宝丸船長，同漁撈長）

1）インドマグロの魚体は，前半操業時は比較的小さく，後半操業時は大きかった.
2）操業10回目以後のインドマグロには，熟卵が認められた.
3）サメは全部アオザメで，胎児は認められなかった.

濠洲スチーヴ岬西方海域における海況及び漁況

中村定一（福島丸船長）

操業回数が少いため詳細については判明しないが，25°S以北の105°E線では，NWの潮流の模様であった. この海区においては，数隻が並行に操業しても，大部分が大漁であった. 他漁場には見られない現象である.

謹賀新年　昭和36年元旦

日魯漁業株式会社

三崎事業所 所長 菅野 進

三崎事業所 神奈川県三浦市三崎町入船14番地
電話（三浦）2866・3364・2003番

本社 東京都千代田区丸ノ内2ノ2 丸ビル4階
電話 千代田 (20) 6161（大代表）

マグロ漁況概況予報　（1961年2月）

神奈川県水試漁業指導科

1.　東部太平洋第1漁場（20°N東北，150°W以北）

緯度28以から32度，西経150度から140度にかけての海域のメバチは好漁期であり，しかも今漁期は好漁年ですので，漁獲はひき続き高く，4.5屯位になるでしょう．

2.　東部太平洋第2漁場（5～20°N，150°W以東）

北緯5度から13度，西経130度から120度にかけての海域のメバチは好漁期で，漁獲は6.0屯位でしょう．

3.　東部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

メバチは，赤道から南緯7度の海域が好漁期ですが，西経130度以西の海域，西経130度から120度までの海域及び西経120度以東の海域とで漁獲が異なり，西経130度以西の海域は0.8屯程度，西経130度から120度までの海域は2.7屯位，西経120度以東の海域は6.5屯位になるでしょう．

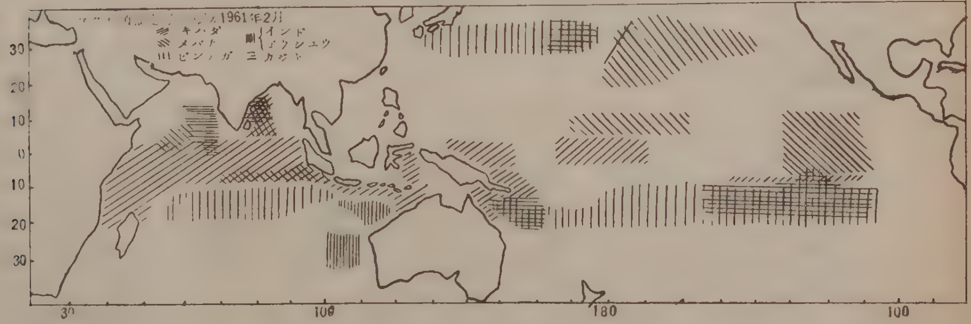
キハダは，南緯7度から10度までの水帯で比較的漁獲され，1.5から2.2屯位，また，南緯5度から10度，西経130度から120度までの海域では，ビンナガとクロカワが多獲され，漁獲はビンナガが0.9屯，クロカワが0.6屯位漁獲される見込みです．

4.　東部太平洋第4漁場（10～30°S，150°W以東）

南緯10度から20度，西経150度から120度にかけての海域は，ビンナガ，クロカワ共に多獲されますが，クロカワの漁獲は南緯15度の北側の海域と南側の海域とで異なり，ビンナガが1.8屯，南緯15度の北側の海域のクロカワが0.7屯，南緯15度の南側の海域のクロカワが1.4屯位になるでしょう．なお，クロカワの漁獲は，パウモツ諸島周辺が最も高く，同海域より東または西に到るに従い，わずかずつ低くなるでしょう．

5.　中部太平洋第1漁場（20°N以北，170°E～150°W）

ミッドウェー島西方海域のビンナガは，1月にひき続き好漁期で，漁獲は0.8屯位，北緯20度から35度，180度から西経150度にかけての海域のメバチも1月にひき続き好漁期で，しかも今漁期は好漁年に当りますので，漁獲は3.2屯位，なお，最盛漁場は1月より稍東方に移動し，北緯25度から35度，



西経165度から140度にかけての海域は，4.5屯位の漁獲になるでしょう．

6. 中部太平洋第2漁獲（5°～20°N，170°E～150°W）

北緯5度から13度の，マーシャル諸島からパルミラ島付近にかけての海域のメバチは好漁期に当り，2.0屯位の漁獲でしょう．なお，北緯5度以南の海域の影響を受け，マーシャル諸島から西経175度にかけての海域は，キハダが0.6屯位混獲される見込みです．

7. 中部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E～150°W）

北緯5度から南緯5度，西経170度以西の海域では，昭和33年以降毎年漁獲が高くなっており，昭和36年2月も好漁期に当るものと考えられるので，1.8屯位の漁獲があるでしょう．なお，同海域では，メバチが0.4屯位混獲される見込みです．

8. 中部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E～150°W）

南緯10度から22度までの全海域にわたり，ビンナガの漁獲が比較的高く，南緯15度の北側が0.9屯南側が0.6屯位になるでしょう．また，同海獲の東よりではクロカワが多獲され，1.0屯位の漁獲になるでしょう．

9. 中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

この漁場のゴウシュウマグロは，不漁期に当りますが，2.0屯から3.0屯位の漁獲はあるでしょう．

10. 西部太平洋第1漁場（20°N以北，170°E以西）

北緯25度から35度，東経130度以東の海域ではビンナガが好漁期で，漁獲は東経160度以西の海域が0.6屯，東経160度以東の海域が0.8屯位，また，メカジキは，北緯30度から35度までの東よりの海域が，好漁期ですが，昭和34年まで高かった漁獲が35年には著しく低くなっているので，36年にも同現象が出現すれば，0.1屯位になるでしょう．なお，持ち直せば0.3屯から0.4屯位になる見込みです．

11. 西部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E以西）

この漁場は全魚種にわたり不漁期ですが，キハダが0.6屯，メバチが0.8屯位漁獲されるでしょう．

12. 西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

この漁場のキハダは，好漁期における一時低下期ですが，今漁期は不漁年と考えられますので，北緯5度から南緯5度，東経135度から155度にかけての海域で，1.7屯位，ソロモン群島付近，及びその西方海域で，1.5屯位の漁獲がある程度でしょう．

なお，ソロモン群島西方海域では，0.3屯位のクロカワ，南緯5度以北の海域では0.3屯位のメバチが混獲されるでしょう．

13. 西部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E以西）

サンゴ海奥部では1.5屯位のキハダ，その沖合からサンゴ海中心部にかけての海域では，0.3屯位のクロカワ，また，オーストラリアのクックタウン沖合からニューヘヴリデス諸島にかけての，南緯15度から20度までの海域では，ビンナガが1.2屯位漁獲されるでしょう．

14. 東部印度洋漁場（100°E以東）

バンダ，フロレス海では，東経130度以西の海域で，キハダが1.8屯，メバチが0.6屯位，アル諸島西側海域は，シロカワが1.5屯，マカジキが0.3屯位漁獲されるでしょう．

スンダ列島南側の南緯12度以北の海域から東経120度以東のスンダ，チモール両島とオーストラリアにはさまれた海域に到るキハダは，1月にひき続いて好漁期で，漁獲は1.6屯位でしょう．なお．スンバワ島南方の南緯12度からオーストラリア沿海，東経115度から120度までの海域のキハダは0.6屯位に低下し，同漁場は東方乃至北方へせばまるものと思われます．

ジャワ，小スンダ列島南方の，南緯12度から20度に至る海域のインドマグロは，魚群の拡散期に当

り，0.9屯程度，オーストラリア，スチーヴ岬西方の，南緯20度から30度，東経100度から110度にかけての海域のインドマグロは1月にひき続き好漁期で，漁獲は4.8屯位になる見込みですが，今漁期は例年より稍早く訪れているので，漁期が早く終れば，3.0屯位になるかもしれません．

なお，ジャワ西方の海域では1.0屯位のメバチ，その南側の南緯10度から15度までの海域では，1.1屯位のビンナガが漁獲されるでしょう．

15. 北部印度洋漁場（5°N以北）

ベンガル湾では，キハダが2.1屯，メバチが1.4屯，また，インドのマドラス東方海域では，マカジキが0.8屯位漁獲されるでしょう．

アラビア海では，北緯5度か10度までの，東経70屯以西の海域で，メバチが1.4屯，マルディヴ諸島北部からラカディヴ諸島にかけての海域ではクロカワが0.7屯，また，同海域からマルディヴ諸島南部にかけての海域の東よりでは，マカジキが0.6位漁獲されるでしょう．

16. 中部印度洋漁場（5°N～10°S，100°E以西）

キハダは全漁場にわたり好漁期で，東経65度以東の海域が2.5屯，東経65度以西の海域が6.1屯，位の漁獲でしょう．

また，南緯5度から10度，チャゴス諸島からココス島北方にかけての海域では1.0屯位，赤道から北緯5度，東経65度以西の海域では1.4屯位のメバチが，混獲されるでしょう．

17. 南部印度洋漁場（10～30°S，100°E以西）

南緯10度から20度までの海域では，東経65度以東の海域でビンナガが1.1屯，東経65度以西の海域では0.9屯，また，東経95度以西の海域では，クロカワが0.3屯位漁獲されるでしょう．

謹　賀　新　年　　　昭和36年元旦

鮪延縄漁具製作に革命をもたらす新漁具

鮪延縄用SKスリーブ及びプレッサー

実用新案登録番号　132570・132571

本品はワイヤーもせきやまも手軽に締めつけが出来て誰でも出来不出来がありません．その上製作に時間と労力を要せず強度も一定で革命的のものであります．東京水産大学練習船海鷹丸をはじめ官公庁船，会社船等に使用されていて実用上その耐久力強度については充分に立証されております．

須　田　製　作　所

営業所　東京都中央区銀座東6—4日交ビル　電話(541) 3904～7
第1工場　東京都中央区月島通11—6　電話(541) 1095

※ 説明資料は鮪漁業研究会に申込下さい ※

マグロ研究報告の紹介

No. 19

マグロ延縄の漂移からみたソロモン群島近海６～８月の海流

山　中　　一
（南海区水研報告　5,　1957）

１）5°S以北の海域

1953年では資料は多いが，1952年の資料は少ない．160°E以西の海域では，1952年７～８月の資料はないが６月には3°S以北に0.5から1.0/hE流が認められる．また3°S以南では6，7，8月ともW流がみられる．これに対し，1953年６月には，ほぼ全域にわたるW流が存在している．7月にはOn-tanggava島以北に弱いE流がみられ，８月にはこのE流はSE流として5°S以北全域にみられ，1.0から1.5/hと強勢になっている．160°E以東の海域には，1953年６月の資料しかないがこれによるとW流系統の海流の中にEまたはSWの海流がみられ複雑な海流状態を示している．

２）5°S以南ソロモン群島北側の海域

160°E以西の海域では，両年ともほぼWまたはNW流である．また流れの強弱は年によって異なり，1952年の各月の海流は1953年のそれよりも強勢である．160°E以東の海域では，1953年６月に資料は少ないがSEまたはSWの海流がみられる．

７月には，W，NW及びSWの海流がみられ，大略W流系統の流れを示している．８月には前月にみられなかったE流がみられ，165°E付近ではSまたはSWの海流もみられる．1953年の6，7月にはいずれもWまたはNWの海流が現れているが，ソロモン群島南部のSta-Isabel, Malaita, Sancristobal島の島々沿いに，上記のWまたはNW流の反流の一部としてEまたはSEの海流がみられる．

３）ソロモン群島島しょ間の海域

1953年７，８月の資料しかない．これによると，両月とも海流はEまたはSEで，各水道ではそれぞれ異った方向の海流が流入したり流出したりしているのがみられる．この海域では，海流と潮汐との間に関係があるかもしれない．

４）ソロモン群島サンゴ海側の海域

1953年の資料しか得てないが，各月とも沿岸に近い海域の海流はEまたはSEであり，一部は上述した 3) の海域に流入し，一部はその海域から流出する海流と潮目を形成している．これに反し，やや沖合の海域ではWまたはNWの海流がみられる．　（文責　中込）

煮沸前のキハダのグリーン及びオフカラー状の性質

John J. Naughton, Michel M. Frodyma, Harry Zeitlin
(Special Scientific Report-Fisheries No. 197
Bureau of Commercial Fisheries)

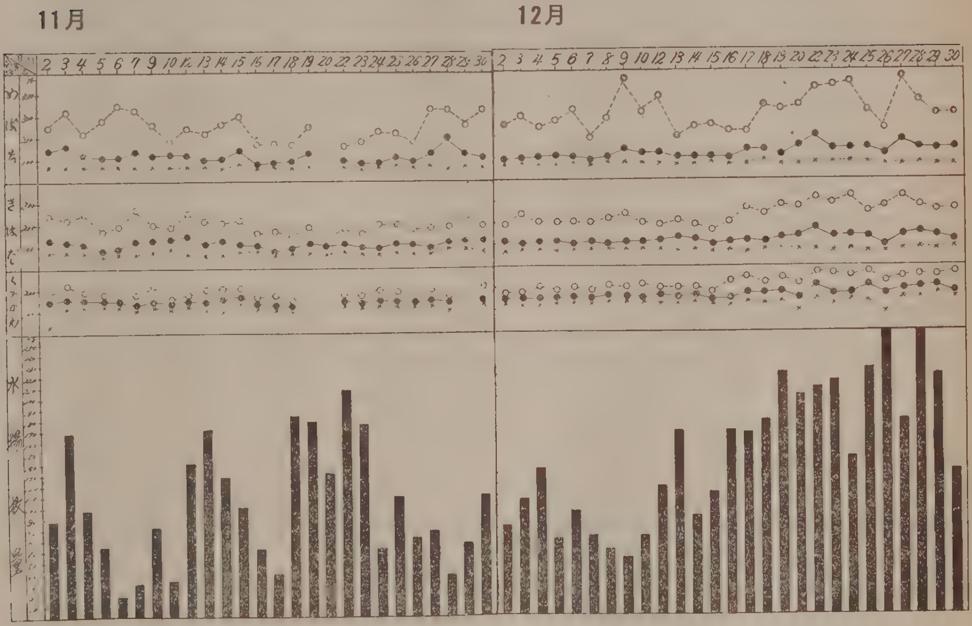
試験の結果から，我々は，下記の試験的な結論に達した．

１）煮る時に，マグロの肉の中で行なわれる色の変化（緑化も含む）というのは，肉の下述以外の成分または環境によるヘモグロビン，またはミオグロビン，またはそれらの派生物である肉の正常な色素の反応の結果によりもたらされるものである．

２）この仕事の現在の段階において，我々は，正常な肉とグリーンミートとの間の差は，主に，普通の類似色素の派生物の一定の濃縮の差によって，ひき起されるということを，信じたいと思う．また，いくつかの証拠は，煮たグリーンミートの中の，異常なヘモグロビン及びミオグロビンの派生物と考え

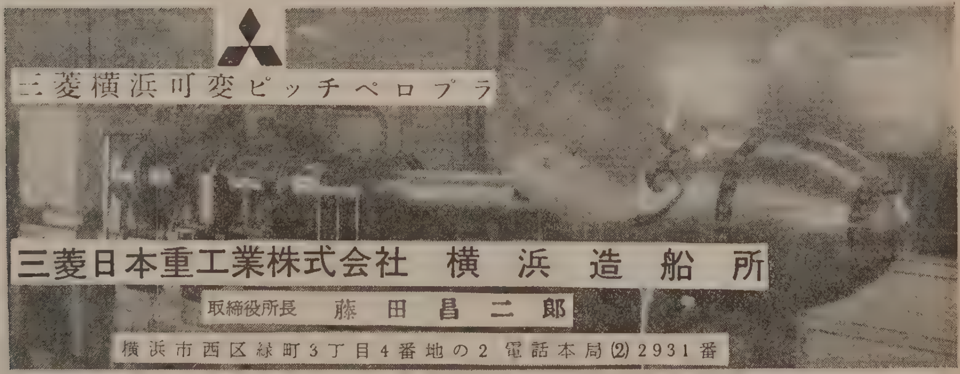
られる附加色素の濃縮の低さにも現れている．

褐色化，緑色化は，蛋白質色素の酸化の現れであるように思われる．これらの色素変化の要因は試験をされる魚肉の生理的または物理的状態に関係がある．　　　　（文責　　中込）



鮪類水揚価格表（三崎）昭和35年11月・12月

賀　　正　　　　昭和36年元旦



セーシエル諸島よりマルディヴ諸島にかけての海域の各漁場間の漁況及び体長組成上の関係について

神奈川県水産試験場
（中条宏造・渡辺博之）

当場試験船相模丸昭和34年度第2次航海において，漁場間で著しい魚種組成及び魚体組成の差がみられたので，検討したところ，2, 3の結果が得られたので報告する.

なお，この報告は昭和34年度業務報告に発表する予定であるが，同報告が予定部数僅少のため業者にわたる可能性が少いので，あえてここに発表した.

資 料 及 び 方 法

調査期間は昭和34年12月10日より昭和35年2月9日まで，調査した各漁場と調査回数は次の表1に示す.

表1　調 査 海 域

Ⅰ－1	8－20N	4－20N	75－00E	69－00E	8　回
Ⅰ－2	10－00N	0－00N	61－00E	59－00E	3　回
Ⅱ	2－00S	5－00S	60－00E	57－30E	13　回
Ⅲ	1－30S	4－10S	55－00E	52－00E	16　回
Ⅳ	2－30S	3－40S	66－00E	63－20E	5　回

結 果 及 び 考 察

漁況及び魚種組成は表2，体長組成は表3～4に示す.

1. き は だ

本航海の最多漁獲量を揚げたきはだは第2表の如く85％強を占めているが，第1次操業海域に於いては，55％強と他の3海域とは漁況を異にしている.

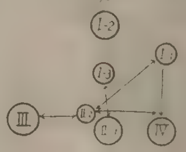
この様に顕著な漁況の相違は当然棲息水域の相違を如実に反映しているものであるが，生物学的にはこの様な相違は棲息水域の相違のみでなく成熟段階から来る必然的な棲み分けがこの様な漁獲組成に現われたものと推定される.

第1次操業海域と他海域の体長組成を比較してみると，きはだのみでなくめばちの体長組成（第3～4表）も他海域とかなり違っている様である.

今，これらの群組成を知るため，第3次操業海域を最も顕著な例として挙げると，雄にあっては体長135 cmにモードを有する群と117cmにモードを有する2群を主体としたもので一つの群が構成され，その海域に於ける漁獲対象群となっている.（表3）今仮に117cmにモードを有する群をr年魚とすればこの群はr年魚r＋1年魚及び少数であるがr－1及びr＋2年魚の4群から構成されている．他の海域に於いても群組成はこの構成が基調となっているが，群を構成する各年級群に多少の変動がありそうなので，各海域に於ける漁獲魚が同一母集団から漁獲され

第1図(イ) きはだ群組成図

（♂）



たものであるとの仮設のもとに，各海域に於ける雌雄体長組成の平均値について比較を試みた．この場合従来は雌雄を混みにして，種々の計算を行なって来たのであるが，雌雄間に性的条件から成長の差があるであろう事と，産卵行動前後に於ける雌雄の行動が違う事が予想され，また標本が少い場合その偏りの大きくなる事も考えられたので雌雄を別途に計算した．（第5表）

これらの計算結果を第1図の模式図によると，雄にあっては Ⅰ—$_1$ 及び Ⅱ—$_2$，Ⅳ 海域のきはだは同一母集団に属している様であるが Ⅰ—$_2$，Ⅰ—$_3$，Ⅱ—$_1$，Ⅲ 海域のきはだとは異った一集団のものの様である．またⅢ海域の魚群は Ⅱ—$_2$ と，また Ⅰ—$_3$ と Ⅱ—$_1$ の間に夫々関係がみられる．

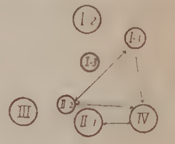
これらの関係を，漁期を加味し群行動と解して検討を加えてみると，Ⅰ—$_3$ と Ⅱ—$_1$ 海域のきはだ間に関係がみられ漁期の近接していることより，この関係は Ⅱ—$_1$ 群が北上中であったものか或は Ⅰ—$_3$ 群が南下しているものか分明でないが，後述する Ⅰ—$_1$ 群と同傾向を示すとするならば Ⅰ—$_3$ 群が南下したものであろうと考えられる．

Ⅰ—$_1$ 及び，Ⅱ—$_2$，Ⅲ，Ⅳの各域に於けるきだはは，Ⅲを除いた各海域間のきはだに関係がみられ，ⅢはⅡ—$_2$ との間に関係がみられている．換言すれば Ⅱ—$_1$ とⅢでは各々独立した別個の群と解釈されたが，操業末期の Ⅱ—$_2$ 海域ではⅢと関係がみられる．この事はⅡ海域に棲息分布した初期のきはだが，南下或は北上して（その大部分が漁撈により間引かれたとは解せない）その海域から消滅し，それに替る補充群としてⅢ海域からその一部が Ⅱ—$_2$ 海域へ更に Ⅱ—$_2$ 海域からⅣ海域へと補充されたものか，或は逆に Ⅰ—$_1$ 海域に分布していたきはだ群は，秋季の産卵行動を終えた群より序々に南下し，本船が12月初旬 Ⅰ—$_1$ 海域に於いて行なった試験操業により漁獲された魚群は，その南下の遅れていた魚群に対してなされたものであり，漁獲の対象にならなかった群は，南下しⅣ海域にその或部分は本船の Ⅱ—$_1$ 海域操業後，Ⅱ—$_1$ 群消滅と同時に或は Ⅱ—$_1$ 群を駆逐し或は包含し，Ⅱ海域に分布し更に一部がⅢ海域魚群に添加したのかもしれない．

これらのことを雌について観察を加えると，雄と略々同様な動き（第4表）を示しており，雄と異る行動としては Ⅰ—$_3$ 及び Ⅱ—$_2$ 海域のきはだ間に関係がみられていることである．この事は雌と雄の行動の間に本質的な差はなさそうであるが，その産卵行動なり成熟段階に於いて雌雄の同年級群の行動が，何らかの因子によって必ずしも一致するものではない事を示している様である．

第1図(ロ) きはだ群組成

（♀）

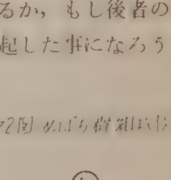


尚今回漁獲されたきはだの体長組成と過去の漁獲記録昭和32年度神水試報告によれば，昭和31年度のモードは中部印度洋では140〜150cmに出現しているが，今回では130〜140cmにモードが出現している，即ち，約1年級若い魚群を漁獲したものと考えられるが，この体長組成がこの漁期のみで，以後次第に大型魚が漁獲され年累計では昭和31年度と同組成になるものか，或は今次漁獲結果が昭和35年度の体長組成を代表するものとなるか，もし後者の場合であると仮定するならば，中部印度洋のきはだ資源にとって注目すべき問題を提起した事になろう．

2. め ば ち

めばちの漁獲量は全漁獲量の約1割弱である．きはだがⅠ海区を除いて各海区略々平均化された漁獲組成を以って漁獲されたに対し，めばちにあっては海区別ではⅠ海区に最も多く次いでⅢ，Ⅱ，Ⅳ海区の順に釣獲率は漸次低下している．また各海区間の系群としては第2表及び第2図の模式図に示す通りきはだと異り，大別した北部印度洋と中部印度洋海区間には一線を画したかの如く，Ⅰ—$_3$ 及び Ⅱ—$_1$ 海域 Ⅱ—$_1$ とⅢ海域 Ⅲ と Ⅱ—$_2$ 海域 Ⅱ—$_2$ とⅣ海域間に関係がみられているのみである．群行動としては北部海区を切離して考えた場合，中部印度洋のめばちはきはだとかなり似

第2図 めばち群組成



た分布行動をとっているが中部印度洋に於けるめばちの産業価値は極めて低いものと云える.

3, くろかじき及びその他のかじき類

かじき類は全漁獲量の5%強を占めており，数的にはめばちの半数であるが，これに計量的な或は経済効果を加味すれば，めばちを上廻る漁獲を揚げたと云える．海区的には第1次操業海区に最も多く次いでⅣ，Ⅲ，Ⅱ海域ときはだの漁獲とは逆相関にある.

この事をかじき類の個々についてみるとこの傾向はくろかじきに最も強く現われ，他のまかじき，しろかじき，ばしょうかじき類は略々海区平均した漁獲を示している．体長組成からみた関係はまかじきにあっては，各海区間の相違はなく，くろかじきはⅠ海区以外の漁獲が少かったためⅡ，Ⅲ，Ⅳ海区を混みにして検定した所関係はみられるが，Ⅰ海区と他海区のくろかじきを比較した場合性的成熟段階がかなり異っている様である．この事は生殖線指数（Gonad Index）を計算する時間的余裕がなかったので直接比較の対象にならないが，第1次操業海域に於けるくろかじきの生殖線指数（G.Ⅰ）はかなり高い数値を示しているので，太平洋に於けるくろかじきが，10～2月頃アルキペラゴ諸島付近にて産卵すると報告されている事を考えると，印度洋に於けるくろかじきの産卵も，略々この時期に北部海域の第Ⅰ次操業海域付近にて産卵行動があるのではないかと推定される.

表2　漁況及び魚種組成

	Ⅰ 海域				Ⅱ 海域			
	鈎数	漁獲尾数	釣獲率	魚種組成	鈎数	漁獲尾数	釣獲率	魚種組成
				%			%	
きはだ	24,910	715	2.86	55.6	16,950	2,038	11.02	95.0
めばち	〃	366	1.46	28.3	〃	72	0.42	3.3
かじき類	〃	205	0.82	15.9	〃	35	0.20	1.6
計	〃	1,286	5.16		〃	2,145	12.65	

	Ⅲ 海域				Ⅳ 海域			
	鈎数	漁獲尾数	釣獲率	魚種組成	鈎数	漁獲尾数	釣獲率	魚種組成
			%				%	
きはだ	30,550	3,011	9.85	90.4	10,000	534	5.34	90.5
めばち	〃	206	0.67	6.1	〃	29	0.29	4.9
かじき類	〃	113	0.36	3.4	〃	27	0.27	4.5
計	〃	3,330	10.90		〃	590	5.90	

	計			
	鈎数	漁獲尾数	釣獲率	魚種組成
			%	
きはだ	82,410	6,298	7.63	85.6
めばち	〃	673	0.81	9.1
かじき類	〃	380	0.46	5.1
計	〃	7,351	8.92	

Ⅰ 海域…… 1～13回　　Ⅱ 海域……14～22回, 39～40回

Ⅲ 海域……23～38回　　Ⅳ 海域……41～45回

表 3　　　きはだ体長組成

	I－1（1～11）		I－3（12～13）		II－1（14～22）		III（23～38）		II－2（39～40）		IV（41～45）		Total	
	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
71					1		5	3		1	1		7	4
81	2	4			2	3	11	18			7	6	22	31
91	7	4	1		8	10	71	55		1	4	1	91	71
101	34	25	8	8	61	42	139	127	6	12	7	8	255	222
111	72	47	12	13	145	101	545	436	36	35	64	69	874	701
121	137	81	30	22	273	218	421	294	27	43	86	79	974	737
131	82	22	64	25	712	185	613	219	29	19	127	64	1627	534
141	8	2	5		46	9	44	5	7	2	8	2	118	20
151					2	1	5		1		1		9	1
n	342	185	120	68	1250	569	1854	1157	106	113	305	229	3977	2321
S^2	117.953	121.097	102.184	104.134	98.253	112.012	203.665	138.550	118.839	110.508	141.865	118.223	128.259	132.687
S	10.9	11.0	10.1	10.2	9.91	10.58	14.27	11.77	10.9	10.51	11.91	10.87	11.32	11.52
$\bar{x}$	125.80	120.65	129.58	125.41	130.05	125.63	123.90	119.84	125.81	122.99	126.75	124.08	126.28	122.01
$S_{\bar{x}}$	0.587	0.809	0.922	1.236	0.28	0.439	0.331	0.119	1.058	0.988	0.682	0.718	0.179	0.239
$t_{.05}$	1.16	1.59	1.82	2.48	0.54	0.86	0.64	0.23	2.09	1.96	1.34	1.41	0.35	0.46

表 4　　きはだ以外の魚種の体長組成

めばち							
	Ⅰ—1/2 1 ～ 11	Ⅰ—3 12 ～ 13	Ⅱ—1 14 ～ 22	Ⅲ 23 ～ 38	Ⅱ—2 39 ～ 40	Ⅳ 41 ～ 45	Total
71		1		3			4
81		2	8	10	1		21
91	8	5	23	28	2	4	69
101	16	1	8	21		1	47
111	15	3	4	39	3	4	68
121	39	4	4	36		4	87
131	53	4	2	29	4	6	97
141	76	3	2	24	3	8	116
151	79		3	14	3	2	99
161	42		2	2			46
171	14						14
181	1						1
n	343	23	56	206	16	29	669
S^2	343.365	392.442	488.181	416.004	499.133	344.857	543.718
S	18.53	19.81	22.09	20.39	22.2	18.57	23.31
$\bar{x}$	143.93	114.97	108.5	121.49	129.75	129.44	132.17
$S_{\bar{x}}$	1.000	4.130	2.952	1.421	5.585	3.448	0.901
$t_{.05}$	1.96	8.54	5.92	2.80	11.84	7.05	1.76

まかじき						
	Ⅰ—1/2 1 ～ 11	Ⅰ—3 12 ～ 13	Ⅱ—1 14 ～ 22	Ⅲ 23 ～ 38	Ⅳ 41 ～ 45	Total
136	4			1		5
141	3					3
146	5			1	2	8
151			1	1	3	5
156	4		2	6		12
161	12	2		18	1	33
166	10	2	7	15	1	37
171	9	1	1	7	1	20
176	11	2		8	2	23
181	2	1		2	1	7
186	1	1	1	2	2	6
191	1					1
196	1					1
201						1
n	63	9	12	61	13	162
S^2	186.866	77.778	76.515	78.446	228.525	137.816
S	13.66	8.81	8.74	8.85	15.11	11.73
$\bar{x}$	166.36	174.05	167.66	168.01	167.73	167.88
$S_{\bar{x}}$	2.966	2.939	2.525	1.134	4.192	0.922
$t_{.05}$	5.93	6.64	5.50	2.26	9.05	1.82

表 4　　キハダ以外の魚種の体長組成

	くろかじき			しろかじき	ばしょう		めかじき
	1 ～ 8	14 ～ 45	Total	Total		Total	Total
131		2	3		111	1	5
141	2	2	4		121	2	1
151	6	10	18	1	131	7	5
161	13	5	20	2	141	7	4
171	18	3	25	6	151	14	2
181	23		26	6	161	22	3
191	8	6	17	11	171	21	1
201	1	3	6	7	181	27	
211	1		4	5	191	16	
221	5	1	6	2	201	3	
231	3		5	2			
241	1	3	6	1	n	120	21
251	2	2	4		S^2	367.333	356.200
261				4	S	19.16	18.87
271				1	$\bar{x}$	160.0	140.76
281					$S_{\bar{x}}$	1.749	4.118
291	3	1	4		$t_{.05}$	3.46	8.56
n	86	38	148	48			
S^2	609.201	1510.732	812.687	829.085			
S	24.68	38.86	28.50	28.79			
$\bar{x}$	189.61	184.16	189.18	205.17			
$S_{\bar{x}}$	2.661	6.305	2.343	4.156			
$t_{.05}$	5.29	12.74	4.62	8.37			

謹 賀 新 年　　元 旦

報 国 水 産 株 式 会 社

社 長　江 島 静 男

東京都中央区小田原1ノ1番地
電 話 (541) 1 9 4 1 ～ 5 番

表 5　　2群間に於ける体長組成の検定

組合	きはだ♂ $\overline{x_1x_2}/S_{\bar{x}}$	きはだ♂ 5%水準	きはだ♂ 摘要	きはだ♀ $\overline{x_1x_2}/S_{\bar{x}}$	きはだ♀ 5%水準	きはだ♀ 摘要	めばち $\overline{x_1x_2}/S_{\bar{x}}$	めばち 5%水準	めばち 摘要	まかじき $\overline{x_1x_2}/S_{\bar{x}}$	まかじき 5%水準	まかじき 摘要	組合	くろかじき $\overline{x_1x_2}/S_{\bar{x}}$	くろかじき 5%水準	くろかじき 摘要
1～11回 12～13	3.54	1.97	m≠0	3.21	1.99	m≠0	6.81	2.06	m≠0	2.25	2.19	m≠0	1～8			
1～11 14～22	6.53	1.96	〃	5.40	1.97	〃	11.36	7.99	〃	0.42	2.12	m=0	14～45	1.63	8.61	m=0
1～11 23～38	2.81	1.32	〃	2.92	1.97	〃	12.90	1.97	〃	0.80	1.95	〃				
1～11 29～40	0.08	1.98	m=0	1.83	1.98	m=0	2.49	2.11	〃							
1～11 41～45	0.55	1.96	〃	3.07	1.97	m≠0	4.03	2.03	〃	0.31	2.13	m=0				
12～13 14～22	0.48	1.98	〃	0.16	1.99	m=0	1.27	2.04	m=0	1.61	2.22	〃				
12～13 23～38	6.07	1.98	m≠0	4.33	1.99	m≠0	1.49	2.05	〃	1.91	2.20	〃				
12～13 39～40	2.68	1.98	〃	1.54	1.99	m=0	2.12	2.10	m≠0							
12～13 41～45	1.27	1.97	m=0	3.17	1.97	m≠0	2.65	2.05	〃	1.23	2.19	m=0				
14～22 23～38	14.17	1.95	m≠0	10.30	1.96	〃	3.96	2.00	〃	0.12	2.12	〃				
14～22 39～40	3.87	1.98	〃	2.43	1.98	〃	3.36	2.09	〃							
14～22 41～45	4.47	1.96	〃	1.83	1.97	m=0	3.83	2.02	〃	0.01	2.16	m=0				
23～38 39～40	1.72	1.98	m=0	3.00	1.98	m≠0	1.43	2.11	m=0							
23～38 41～45	3.75	1.96	m≠0	5.53	1.96	〃	2.13	2.03	m≠0	0.05	2.13	m=0				
39～40 41～45	0.75	1.97	m=0	0.89	1.97	m=0	0.04	2.09	m=0							

=新製品紹介=

改良餌料用冷凍さんま
「スーパー・デラックス・ベイト」の概要

鈴　木　五　郎

鮪漁船の大型化に伴い，その操業日数は次第に長期化して居り，大西洋漁場へ進出する船舶の航海日数が2年にも及ぶ今日，餌料用冷凍さんまについては，旧来通り，10kg木函のものが使用され，何ら改良進歩が見られないと考える．従来の冷凍さんまはこの長期操業中に乾燥，油焼け等の変質を起して餌料としての効用価値を著しく低下せしめている．これに対し，筆者は，餌料用冷凍さんまに新らしく二，三の試みを施して見たのでここに紹介する．

主なる改良点は次の通りである．

(1) 酸化防止剤の添加を行なったこと．
(2) さんまの凍結ブロックをポリエチレン袋に密封したこと．
(3) 包装容器にダンボールを使用したこと．
(4) 7.5kgパン2枚即ち15kgを1ケースとしたこと．
(5) 緩衝用ダンボール板を挿入したこと．
(6) 魚体の大きさを画一化し，鮮度良好なるもののみを使用したこと．

上記の点について以下簡単に説明してみると，

(1) 酸化防止剤の添加を行なったこと．

さんまは衆知の如く，脂肪含有量の大きい魚種であり，長期保管中には「油焼け」を起し易く，この防止には，現在低温下に貯蔵し，淡水によるグレーズを施す方法が陸上で行なわれているのみである．陸上冷蔵庫に於いては再グレーズによって1年間の保管は何ら支障を見ないが，海上での保管々理は全く省みられない現状であり，高温下の漁場，忙しい操業中にあっては，再グレーズなど望み得ないと思われる．従って本品では特に酸化防止処理に重点を置き，酸化防止剤の添加を試みたのである．油焼けの防止が餌料としての価値を如何に高めるかは多くの漁撈長をはじめ，鮪漁業関係者の知るところである．

(2) さんまの凍結ブロックをポリエチレン袋に密封したこと．

グレーズの飛散は，餌料さんまの乾燥を招き，ひいては油焼けを促進し，さんま魚体表面の色艶を失なう原因となる．魚体の色艶は，餌料の価値の一要素を占めて居り，これの持続性を増すと云う観点から本品では冷凍後の7.5Kブロックをポリエチレン袋に密封した．

(3) 包装容器にダンボールを使用したこと．

従来の餌料用さんまに於いても，魚体の損傷は，一つの問題であり，木函に於いては特に，上面の荷摺れの可能性が多かった．ここで，容器にダンボールを使用し，完全に包装した場合は，以上の問題は完全に解決され，更に魚体頭部の破損を防止する意味に於いて，ダンボール容器の一部を特別に強化作製した．これは，又冷蔵庫及び，船舶内に保管する場合，荷崩れを防ぐのに効あるものである．

(4) 7.5kgパン2枚即ち15kgを1ケースとしたこと．

現在，殆んど総ての餌料さんまは，内容量3貫目又は10kgのものが使用されている．木函をダン

ボールに切り変えたことに依り，容器自身の重量が軽減され15kgを1ケースとしたことによって，コストの引き下げにもなっている．ダンボール容器の仕様は，長さ46cm，巾31cm，高さ17cmであり，内容量は170尾とした．これによって，先ず船艙への積み込み時間が縮少され，又船艙の収容量を増したことは大きな利点である．10kg木函の場合には，さんま1tonに対し，$1.95m^3$の容積を要したのであるが，本品によれば，1ton当り$1.62\ m^3$になり，約2割の船艙を節約出来ることになる．これは小型漁船にとっても大きな福音となろう．

(5) 緩衝用ダンボール板を挿入したこと．

7.5kgブロック2個を1ケースに収容したため，両ブロックの摩擦による魚体の損傷を考慮し，夫々のブロック間に緩衝用としてダンボール板を1枚挿入した．

(6) 特に鮮度良好の鮮魚のみを選び，目廻りを画一化し，15kg 170尾入れとした．餌料としての価値は，その保存期間中の管理のみならず，強く原料の品質に左右されるからである．

以上述べた改良点は，現在使用されている餌料用冷凍さんまを長期操業にマッチすべく考慮した結果のものであって，未だこの面でも，酸化防止剤，グレーズ，ポリエチレン袋等に複雑な問題が残されている．

又，もう一度，まぐろ用餌料を省みて大局的に考えて見るならば，これを根本的に改善すべきかも知れない．筆者は，これらの問題の研究に対して，今後一層の努力を惜しまないものである．

（日本冷蔵KK三崎工場長）

謹　賀　新　年

日本冷蔵株式会社

東京都中央区湊町3ノ8　電話　築地(55)代表 2101番 1121番

株式会社　三　保　造　船　所

取締役社長　植田朋八
専務取締役　平岡昌一
常務取締役　道家長松

本社工場　静岡県清水市三保3797番地
電話清水(2)2201(代表)—5
東京事務所　東京都中央区八重洲3ノ7(東京建物ビル)
電話東京(281)6341(代表)—3

マグロに関する座談会（第3回）

主　催　三崎漁撈長協会，鮪漁業研究会，神奈川県水産試験場
（編集　中込・伊藤・石渡）

時とところ　昭和35年11月18日　三崎船員組合会議室

出席者

松田幸松	三崎漁撈長協会相談役	（座談会座長）
川端義勝	〃　会長	
坂本俊一郎	〃　特別会員	
堀合三郎	〃　会員	（第51宮島丸漁撈長）
町田重正	〃	
松田正一	〃	
小林宏州	〃	（第12千鳥丸漁撈長）
西村仁	〃　嘱託	
池田義明	神奈川県水産試験場	（漁業指導科技師）
石渡健次（兼録音担当）	鮪漁業研究会書記	
中込淳（兼記録担当）	神奈川県水産試験場	（漁業指導科技師）

題　目
1. 操業時における延縄の交叉の防止について
2. 試験船に対する意見
3. 鮪漁場の漁獲ははたして減っているか
4. 鮪漁場の魚の大きさははたして小さくなっているか
5. 鮪漁場の漁況と海況との関係について
6. 鮪船の漁獲向上のための特別の処置について
7. シャチの被害について
8. 「鮪漁業」誌の内容について

1. 操業時における延縄の交叉の防止について

松田(幸)：それでは，これから座談会にうつりますが，西村君，要旨を話してくれないか．

西村：さっきお話したように（漁撈長協会例会での説明）漁場で縄が交叉するため，皆，非常な迷惑をこうむるので縄船の仁義というか，そういうものについて，もう少し，考えてくれというような要望があったんです．

堀合：前に謄写板ずりで書いたことがありましたね．

坂本：書いたけども，あれは前のことですからね．

川端：そういう場合はやっぱり焼津とか清水とかの人達と一ぺん会合を持つ必要があるんじゃないかと思う…….

川端：三崎だけでは，とても処置出来ないだろうと思う．

西村：静岡の船は三崎に比べて少い．三崎の船の方が多いです．ずうずうしいことをやらなければ，よその船なんか問題じゃないですよ．三崎だけでもいいから，規則を守ってもらいたいですね．

川端：だけど，現在のところ，焼津，清水の方が三崎よりも多いんじゃないですか．三崎の船は殆んど大西洋へ行ってますからね．

堀合：小さい船は，焼津，清水の方が多いです．

西村：かつお兼用船は静岡の方が多いが専用船は三崎の方が多いです．無線の呼び出し符号を作った

ら，焼津，清水，御前崎3つを合わせたものが三崎の半分です．

松田(正)：これで，まだ，漁撈長協会に入っていない人が大分あるから，そういう人を加入するようにしたいんですがね．

坂本：全部例会に来なくてもいいから，漁撈長協会へ行ったらこういうことを話していたから，お互いにじゃまにならないように気を付けようじゃないかというようにしたいものです．

川端：西村君が言うのは，平行にやっちゃいかんということなんですね．

西村：そうです．

川端：そりゃ，平行にやるというのは悪いです．

町田：でも船が見えないんだし何もわからん時は致し方ないぜ．

松田(幸)：だから，こういう問題はむずかしいんです．

松田(正)：縄が当ったらよければいいんだ．

西村：直角にやるとか方法はあるんだ．2本も3本も上にのられたらかなわん．

川端：そういうことはよくありますね．ぼくらが南でやる時は付近の船が皆連絡をとる．そうして，付近の船の漁のあるなしにかかわらず，何時からどちらに向けてやるか指示をする．三崎船だけは自分たちが連絡した範囲内ではよくこれを守っています．ところがそれへ押し込んでくるのがあるんです．

吉村：揚縄後の予定，潮上りの予定，あくる日の予定とかの連絡は，静岡県の船もやっています．

坂本：近海ならともかく，沖ではそんなに弊害はないと思う．近海ではそうはいかない．風向きによって下向きにやる人もいるし，はすにやる人もいるし，上まずきにやる人もいる．

松田(幸)：この問題はいつの場合でもむずかしいです．

西村：だから，厳格には出来ないが，或る程度の防止の方法としては，漁撈長が揚げ縄終了の一寸前に投縄の予定とか，潮上りの予定とかをはっきり通信士に指示してもらうのも一つの方法だと思う．各船が漁模様をしらせる時，必ずその中にこれも入れる様にする．

町田 松田(正)：それは今までやっていた．

西村：全船がやってはいない．

松田(幸)：三崎船が集まっている時はやっています

左より　川端、坂本、松田(幸)の各氏　右側テープレコーダーと石渡

ね．

最初に明日の予定を知らせるのが歩が悪いように思うのではないですか．それで知らせたくないと思うんです．

堀合：このことは前に決めたことで，そこの漁区に入った一番船から順に知らせることになっていたんじゃないですか．

西村：放送する時は，もう，順番が決まっていますからね．

川端：罰則がないでしょう．罰則を決める訳にもいかないから，お互いが良心的にやってもらうよりほかに方法がないです．

松田(正)：魚が揚がってしまうまで，あちらへ走るとか，こちらへ走るとか決めることはないんです．

坂本：誰だって出来ないですよ．

西村：放送しても変更ということがあるしね．

坂本：漁が少くなったせいか……，自分達のやっていた頃はそうよせても来なかったし．おやじ（松田(幸)氏を指して）とやっていた頃は，よその船がよせて来たら，はだけてやったもんだが．今頃は，よせることしか考えていない．そういう船が多いな．

町田：自然，そうなるわい．

川端：それは，結局，漁が少くなったということですよ．漁が多ければ，人のところへなどよせていかない．一般的に少くなったから，そういうことになるんだと思う．

松田(正)：そういうことは，李ラインと同じようなもので，決めたところで，うまくゆかないです．

松田(正)：一応，前に決めたこと，そういう前のやり方でやればいいんだが，連絡に入っとらない船が，その中にフワッと入って来る様な場合があ

る．

川端：今度，「漁火」（漁撈長協会機関誌）も出たんだから，これに書いてこういう場合は，こうしてくれなどと一般にしらせたらどうです．

松田（幸）：31年度に決めたんだけど，これは三崎だけではだめだ．水産試験場当りに音頭をとってもらって，静岡，高知の遠洋船の代表をよんでもらい，協議したいものです．一つ，試験場で連絡とって見てくれませんか．

川端：会合をやるだけでは何にもならないと思う．一応案でも先に決めておきたいものです．

松田（幸）：三崎で立案して，静岡当りでもこれならやれるという承認を得てから出したいものです．前は，40マイル以内は近寄らないという協定だった．

川端：それは無理なんです．そういう協定はね．

小林：40マイルというと前後80マイルでしょう．

松田（幸）：その場合は，一番先に入った船が一番主体だから，その船に聞いて，その船から40マイルどっちかに離すということなんです．

松田（正）：潮の流れを1日40マイルとみて，それで40マイル離すことにしたんだ．

松田（幸）：先の船の承認を得た場合は，もっと近付いてもいいという話でしたね．

川端：焼津，清水に話す前に，こちらで研究するための委員を選んで，色々と研究してみたらどうですか，ぼくは，その方が大事だと思うんです．

松田（幸）：出ている船は三崎だけではなく，各県で出ているんだから，三崎が主体になって，茨城，静岡などと協定して皆で承知すれば，案外決まっちゃうんじゃないかな．大勢の中に無理して入り込んだって，あれはああだった，こうだったと，丘に来て言われるから，そこまで無茶はしなくなる．協定して決めてしまえばね．今は何もそういうものがないから．

左より　小林、松田（正、町田、西村（後列）、堀合の各氏

池田：そういう様な話題をちょいちょい話しに出せば守る様になるでしょう．

川端：こういう方法もある．交叉した場合どの船かわからない．だからボンデン旗に各船の名前を書いてもらうんだ．名前を書いてもらえば，こういうことをしちゃいかんじゃないかということも出来るわけです．

堀合：船名が解っちゃうですからね．それも一つのいい方法ですね．

川端：また，流失の場合も書いてないと困るんです．もし他船の誰かが拾っても，どこの船のかわからないが，書いておけば捨てた場合でもまた一つののぞみがあるんじゃないかと思う．

坂本：その前の日に，流失した船があったことを知っていても，名前が書いてないと，その船のかどうかわからないから，忙しい時は，そのまま離してしまう．

川端：そういうことはある．自分は，東でやっていた時自分の縄にからんでいるんです．前日に200枚流失した船を知っていたが，ボンデンに名前が書いてないからそのままほうってしまった．

坂本：もつれているからね．

川端：ボンデン旗に名前を書いておけば，そういう時に役に立つし，また，縄を上に延いちゃいけないということも言えると思う．

池田：そういう仁義というか，そういう空気を作るためにこの協会の名前において第1弾を打ち上げると，全国的に協力してもらえるようになると思う．

松田（幸）：まず，漁撈長協会で委員会を作って，出来た案について，試験場の方と打ち合わせて，各県の団体等に強力に呼びかけてもらいたいです．

川端：結論は先ずそういうことでしょうね．

池田：勿論試験船などにはそっせんしてやってもらわなければいけませんね．

堀合：勿論試験船などにはそっせんしてやってもらわなければ……．

2.　試験船に対する意見

川端：試験船はずうずうしいよ．（爆笑）おそらく，試験船は試験操業であろうのに，当業船の中でやっているもの．

中込：そういうことをよく聞きますね．

川端：試験場の船はずうずうしいです．(笑声)目的が違うんですからね．

坂本：試験船も試験をしようと思えば，それだけ釣らなければならないし，早く試験をしようと思えば，釣れてる船のところへ行ってやった方が早いから，そうなるんじゃないかな．

川端：いや，そうじゃないらしい（笑声）．指導船で「釣っているからここへ来なさい」という船は一隻もない（強調）．

中込：私は，先日船へ資料をとりに行った時，或る漁撈長は「大富士はよく教えてくれるが，あとの試験船は何も教えてくれない」「神奈川県の試験船もよく教えてくれるけど」と，あとでつけ足しみたいに言っていましたが（笑声），大冨士丸はよく教えてくれるらしいですね．

小林：大冨士はわりに皆とちがったところへ行ってくれるけど，今度，印度洋に行ったら暗号を使いましたよ．

松田(正)：毎日，清水に連絡をとると大冨士の模様が直ぐにわかる．

川端：それが普通じゃないかと思う．指導船がたくさん釣って，他の船が釣れていない時は，「ここへ来なさい」とよんでくれていいんです．それが自分が釣れない時は当業船の中に入ってくるんです．こんな例はいくらでもあります．

中込：高知で，毎年，鮪漁業の研究協議会がありますが，南海区水研から各府県にこういう試験をして貰いたいとたのむが，水試，学校では収入予算の問題をとり上げて，ここまでは出来るが，これ以上は出来ない，ということを必ず言います．なかなかむずかしいところなんです．

池田：これから，漁があったら民間船に，「ここが釣れますよ」と教えるように励行してもらいましょう．

3. 鮪漁場の漁獲ははたして減っているか

中込：先程も言われましたが，よく，漁がなくなったと言われます．それについて経験されたことや，御意見がありましたら，お話し願いたいのです．去年と同じ漁場へ行った場合など漁が多くなったか，少くなったか，釣っていてわかりますか．

松田(正)：それは，漁はだんだん薄くなりますね．実際少くなっているんですから．

松田(正)：高緯度になると，年によってはそう違わないが，赤道付近の魚は恐らく少くなるばかりでしょう．

川端：高緯度にいっても少くなっています．

松田(正)：多少はね．季節によって喰う魚はそう急激な変化はないけどね．これからのビンチョウ（冬ビンのこと）が釣れるようなものでね．

川端：でも，今年なぞは，マダカスカルのビンチョウはうんと減ったんじゃないですか．

西村：漁場が南に南にと移動しているんで，同じ緯度では殆んど釣れなくなるから，遠くへ出かけなければ釣れないというのが多いんじゃないですか．例えば去年20度で釣れたのが，今年は30度まで行かなければ釣れないように，ですね．

中込：時期は大体同じような時期でですか．

西村：ええそうです．

堀合：ビンチョウにしても，マグロにしてもそうです．インドマグロも3年位前までは，13度位でもけっこう釣れたんです．

松田(幸)：だから，仮に，13～15度で3月に釣れたとするが，それを3月まで待たずに，その1.2ヵ月前に20度に下って釣ったとする．そのさきになると，更に28度付近にもっと早く行く．けっきょく回遊してくるものを先でとってしまうわけです．

松田(幸)：船が大型化したのと，数が多くなったことから，そういう傾向が出てきたのです．三崎の沿岸漁業にしてもそうでしょう．前は朝出て晩に帰って来たのが，今ではそんなんじゃ釣れないから先き先き行ってとってしまう．それと同じです．

堀合：去年の7月頃ですが，赤道付近でキハダが相当の漁があったんだが，あれは海流の影響か何かで，何年か後には増えるもんですか．

松田(幸)：それは間をくぐってくるんですよ，海流の関係で，あまり古いことはしらないが，昔三崎のマグロが東京の市場で有名になったけど，その三崎のマグロというのはキハダマグロのことで，6.7月頃相模湾の定置網でとった頃です．そんなこと今言っても皆本当にしない．それが，昭和10年頃南方へ行くようになった頃減ったんです．我々が来はじめた時，四国の船特に

徳島県当りは殆んど東沖のトンボをやっておりましたが，やはり3,4月頃になってトンボが終ったら，小笠原付近でキハダが釣れたです．その頃は相模湾でもちょいちょい網に入ったです．それで曳縄で釣ったりした．

坂本：自分らは手釣りで釣った．

松田(幸)：ずっと昔の徳川時代の，縄船が始める前から，相模湾でとれた新しいキハダが東京に行くから有名になったらしいんだね．

川端：ベンガル湾でとれとった魚なんか，ぱったり喰わなくなってしまいましたね．

中込：キハダはひどかったですね．

川端：あそこはひどくなってしまったですね．その前は沖で釣っていたがあそこにも入っておったんですがあそこがぜんぜん喰わなくなっちゃったんです．

坂本：戦争当時，この辺で小型船に襲撃されたろう．あの頃はキハダがウンと釣れたね．

松田(幸)：戦争中．縄船が沖へ行かれなかったから．キハダが来たんだね．

坂本：カジキでもキハダでもウンといたからね．

松田(幸)：6,7月頃になると．ここいらの水温が23.4°C位になるでしょう．その位の水温でもキハダがいます．

池田：結局，松田さんが先程言われたように，船が多くなったことと，大型化したためですね．これを表で数字的に説明しますと．昭和25年に200屯から499屯が4隻だったのが昭和34年には232隻になっています．こういう船は．遠くは大西洋まで出漁しています．先程言われた通り，赤道付近の魚が年々減っていることははっきり解っています．この船型が主力になって七つの海の低緯度地方を操業してしまったんですね．この率で行くと，大西洋で成立するかどうか疑問ですね．

松田(幸)：大西洋については，研究会なんかの本を見てみますと．31年から船が行ったが，32年，33年はほぼ変っていないです．34年になると総体の量は減っていないが，漁場が広範囲になって最初の年はそんなに走りまわらなくてよかったが34年になると操業範囲がグーッと拡くなってくる訳だ．そして，今年になって，去年より，また落ちています．

中込：釣獲率は，去年は落ちていません．今年は未だ調べていないのですが，相当減っていると言われています．

松田(幸)：大西洋の場合は何でもという訳にいかないから困るんです．案外，ブラジルへ行ってる船がうまくやっているんです．320屯位の船が55,000貫釣って1ヵ月航海です．3日か4日走って，24，5回の操業で50,000貫釣っているんです．向こうは何でもいいんです．サワラやシイラのようなものでもいいんだからそれだけにいいんです．外はクロカワはダメ，バチはダメと言うんです．だから，実際の貫数だと，製品として金になるものは3分の2位になってしまう．あの捨てるということ，あれは寺島さんなんかも言うけど，あれが一番悪いんです．

中込：今度ある会社の船が，南の海で鯨を安く買って，それを外国に売るという仕事で出港したんですが，その帰りに大西洋へ寄って，大西洋のマグロを買い，日本へ持ってくるということを考えているらしいですが，そういう時に，カジキをどこかへ貯蔵しておいて，日本へ持って帰るような方法を考えたらいいと思いますが．

松田(正)：数多く船が行っている会社は或はやっているかもしれないが，本当は積み変えはやかましくて出来ないんです．だって今のように漁がなくなると700円か800円位でしよう．はるかに高いんです．

松田(幸)：試験場でね，養殖係でないとわからないかな，マグロなんかの子を産んだ場合に，それがうまく育つのはどういう率になるのでしょうか．

中込：今のところ，マグロについては解っていません．マグロの卵は浮遊卵で海に浮いていますが，ああいう卵は率が低く親になる数が少いんです．その代わりに卵が何十万何百万とたくさん産まれるんですが．

川端：あれを孵化する様な研究はないんですか．

中込：今のところは，行なわれていません．

松田(幸)：今は見られないけど，(坂本氏に向かって)坂本ね，戦前には4月頃になるとマグロの子が死んで海がまっ赤になるのをよく見たね．

坂本：うん，見た．クジラの糞だなんて言ったんだけど，皆マグロの子だ．

松田(正)：あれはいかれたものかね．

松田(幸)：ちょうどいい水温でなくて，高い水温の中に入っちゃって，死んで腐ったものだね．まっ赤になって流れていることがあったろう．

川端：今でもあるね．

坂本：今でもあることがあるが，あの当時より少ないなあ．小笠原付近へ行くと数知らず2マイルも3マイルも続いていたことがあった．

川端：そうですか，まだ孵化させる研究はないんですか．

中込：それが出来るようになれば，マグロの研究として一歩進んだ仕事になる訳です．

松田(正)：しかし，子を離す時は，クロカワは上層で，パチとかキハダは皆中層です．自分が棲んでいるようなところで離す，そう考えるね．磯なんかでは子を離さないです．子が成長して．磯へ行って餌をあさる様になるが，子を離す時は，大洋の真ん中で離すんです．そうしないで磯へはなすと皆ばれちゃうんですよ．だから．東沖の何もないところで皆子を持っているじゃないですか．あれは皆出て行く子ですよ．東沖のパチは．

中込：去年より，或は一昨年よりも今年の方が漁が増えたという漁場に気付いたことはありませんか．

川端：さあ，そんなのは……．

町田：そんな現象はあっても，ほんの一時的でしょうね．総体的に少くなっているんじゃないですか．

小林：そういうのは時期的にずれているんじゃないかと思うんですがね．

松田(幸)：インドマグロなんかは，増えているけど，漁場が拡がって，うんと南へ下がっている．だんだん拡くなって今迄は行かなかったところまで行っている．

小林：インド洋のマグロは，北と南で違うんじゃないですかね．

川端：肉質がね．

西村：肉質だけでなく魚体も全々違うですよ．

中込：最近，藁科という焼津の人が報告しているんですが，北側のインドマグロは産卵するマグロで，南側のは餌をとりに来るマグロだ，という風に言っています．それで，肉質も違うし大きさも違うのですね．

4. 鮪漁場の魚の大きさははたして小さくなっているか

中込：魚の大きさについてはどうでしょうか．

川端：大きさはだんだん小さくなりますね．どこへ行っても新しい漁場の魚は大きいですね．

松田(正)：大きいというのは，元気な大きい奴が，餌を早く喰いますからね．それで，大きい奴が先に釣れる訳ですよ．

町田：一本釣りでも大きいのから釣れますね．
特に，クエは，小さい奴が餌をとりに来ると，大きい奴がカマを立てて怒るんです．それで，大きい奴から先に釣れるんです．

松田(幸)：大きいというが，年数がたたなければ相当大きくならないんだから，数が減るのは早いわけだ．さっきの話の相模湾の定置のキハダは，10貫以下のキハダじゃなかっただろう．大きいのはキハダでも20貫からあったと思う．

小林：キハダは小さくなったですね．

松田(幸)：10年頃かな，南方へ行き始めたのは．

松田(正)：昭和8年かな，いや10年だったかな．

松田(幸)：その時分のキハダは始めから小さかったね，案外．西カロリン，東カロリン当りのキハダは平均10貫目もあればいい方だった．ひどい時は5，6貫のキハダが多かった．

坂本：33年には，こんなにもキハダがいるものかなと思ったけど，最近は，あんなには見えない．

川端：昭和10年頃（？）一番最初に行ったのは日吉丸で，あの船が一番最初に釣って来たんだ．それからマッチャンですからね．支那事変のずっと前だな．

松田(幸)：そうでもないだろう．そんな前ではないだろう．

松田(正)：ラインホーラーが昭和8年頃出来て，ラインホーラーが出来たばかりのことだから，昭和10年位だろう．

5. 鮪漁場の漁況と海況との関係について

中込：それから，海況と漁況との間に関係のある，ということに気付いたことはないですか．前に報告しましたが，沖の鳥島から南鳥島の付近のクロカワは，夏多くて冬少いですが，表面の水温を調べると，やはり夏高くて冬低いんです．水温の変化は当然なんでしょうけど，そういう関係があるのです．それから，スルー海のキハダは，風の方向によって漁況が違うということが，報告されたことがあります．漁場で，そういう様なことを感じたことがありませんか．

松田(正)：キハダ類は，あまり風が吹くところで釣れたためしは少ないね．

川端：キハダはね．

堀合：ビンチョウの方は，一寸波のあった方がいいですね．

川端：ビンチョウというのは水温の低いところに棲むし，そういう所だから風が吹くということじゃないんですか．

松田(幸)：だけど，東沖のトンボをやっていた時などは，西風が吹き始めると喰わないよ．西風が吹が始めると，何日でも釣れない．そして，西風から北を通って東を通って南に回る時に釣れてくる．一寸気温が上り気味になった時，それはもうすごい勢になる．仮に，たいした漁じゃないけど普通の漁なんだ．そこにいるのは1そうの船だから，天候が変われば釣れるものを，こんなんじゃしようがないと，あっちこっち走りまわっている内に，居ないところへ行っちゃうんだよ．東沖のトンボは，その時の気温とか何んとかで，いろいろ，ずいぶん左右されるんだ．だから，それでよく失敗する．

松田(正)：西風ですごく吹く時に，喰わんのだね．

松田(幸)：喰わんね．そういう時は浮縄をのばすんだよ．縄を少くして．

川端：その時期にもよるんだろうが，マダガスカルの北側の点々とした瀬のような島があるでしょう．あれの北の58度から60度までの間の3度から4度の付近は，西に流れる潮が早い程漁があるんです．これはいつの場合にでも，そういう現象がある．ぼくは年中あそこでやっている．

松田(正)：潮の早い時はバチがよけい釣れる．

川端：朝まで上り切れないという程潮がいってる程魚の喰いがいいね．

松田(正)：結局，縄が流れるんで範囲が拡がるからだ．

川端：そういうこともあるだろうが，潮のいっていない時はその辺りに魚はまわっていない．0度を中心として30分位の間は魚が少いんだ．喰ってもすぐに南か北へ行ってる．1日喰っても翌る日は喰わない．あれはどういう訳だね．

松田(幸)：それはそうだよ．釣りにひっかかっているところを見れば，他の魚群はどっちかへコースを変えるよ．やっぱり，友達が死んでぶるさがっているんだからそれを見れば，よこの方へ行っちまうよ（笑声)．

川端：ところが，0度付近でなかったらいつまでも喰う．0度を中心としては喰わないんだ．

中込：経度は何度位ですか．

川端：大体57度位から60度．61度位の間ですね．

中込：近くの島は何島ですか．

松田(幸)：あれはセーシエル群島の真西当りになる．

小林：あそこは，なくなってもしばらくするとまたまわってくるでしょう．

川端；ええまわって来ます．餌が多いということじゃないですか．

小林：私がやった時500位来ていたのが，翌る日は一匹も来ないんです．あとの船も釣っているんですが．翌る日になると全々喰わないんです．誰も．

松田(幸)：マグロは1日にどの位動きますかね．緯度は．カツオとどっちの方が早いんでしょう．カツオの方が早いですか．

川端
松田(正)：それはカツオの方が早い．

松田(正)：魚はひれの小さい方が早い．うなぎは別だけどね．（笑声)

池田：形の変わっただえん形の移動をしていると言う人がいます．

松田(正)：そんな風にまわりながら移動しているんですかね．

松田(幸)：そうですね．

松田(正)：ああいうのが，喰わなくなるというのは，底に沈むためにおこることもあるんだよ．今いた群が，水温が変わったとか底潮が変わったとかで底に沈んで，また違ったところへパッとくり出すことがあるんだ．

松田(幸)：だから深さだ．大体今の縄で一番深いところで110mか115m位しか入っていないんだ．それから，南方へ行くと，スコールのある時にイナビカリがあるでしょう．あの光の多い時には魚が喰わなくなる．あれは嫌うのかね．

川端：嫌うことは確です．

川端
松田(幸)：大西洋でも印度洋でもそうだ．

川端：岩壁の魚を釣るとよく解るが．イナビカリすると全々喰わないですよ．

堀合：光よりも音じゃないですか．

松田(幸)
川端：いやいや光ですよ．音はそこまでいかない．音じゃなくて光ですよ．

坂本：音も大きいんだからある程度影響するんじゃないのか．

松田(幸)：シャチまわし以外は，イナビカリがあって魚が釣れるということはない．大西洋でも印度洋でも，濠州でもどこでも同じだ．
ジャワ海なんかイナビカリやスコールがすごいです．ココス島付近ね．

池田：バチなぞは時化みたいな時が釣れますね．

松田(幸)：バチは釣れますね．

松田(正)：前かな．時化る少し前だな．

松田(幸)：季節風が吹くとか，貿易風が変わる時のその前だ．そういう時にやっぱり多い．水産大学の宇田先生の気象学に書いてますが，やっぱりあの通りです．先生が長崎にいた時に三崎へ来られた時，自分で書いとって，どうですかこのようですかと聞いていましたよ．（笑声）

西村：ジャワ沖のマグロは台風が来たらばたっと喰わない．

松田(正)通ったら喰わなくなった．5日もね．

堀合：印度洋の収れん線．あれ何か作用するんじゃないですか．

池田：時化になると潮が急に早くなったりしますね．

松田(正)：なる，そりゃ，2mも3mもする高い潮を持って来るんだから急に早くなるんです．それで事故もあるんです．

川端：だから，そこが荒れるかげんで移動するんじゃないのかな．台風によって魚が喰わないというのは．

池田：満月と漁の関係はどうですか．近海のバチなどは……．

松田(正)：まあ月の方がいいです．

坂本：満月より半月の方が喰うんじゃないのかな．

堀合：魚の種類と漁場によって違うんじゃないですか．この辺の漁場と赤道付近の漁場と違う様な気がします．

松田(幸)：クロカワカジキは月の方がいいのじゃないかと思う．

川端
堀合：クロカワカジキは月の方がいいように思う．

松田(幸)：メカは月がよくないんだ．

川端：満月というのは漁はどういうものか少いね．

町田：バチは多いんじゃないかな．

池田：その3日か，4日位ですか．

川端：その間はあまり喰わないように思う．

松田(正)：満月，満月といっても，十五夜でいいお月さんというのはもう，1年のうち3日位しか見ないよ．（笑声）

坂本：いいお月さんということはないけど，片月の方がよく喰うように思った．

松田(幸)：月を真正面に縄を揚げると．揚げづらいなあ．ランプは見えないし．縄が切れたって，どうなったって解りゃしないよ．

池田：月との関係は，クロカワは月の方がいいけれども，外の魚は地域によっても，種類によっても，違うという訳ですね．

6. 鮪船の漁獲向上のための特別の処置について

中込：自分達の船で，漁獲をよくするために，何か特別の処置をとっておられますか．縄の深さとか．

町田：深くするのも程度があるからね．

松田(正)：縄数を多くする人もいるし，少しで操業する人もいるしいろいろです．

坂本：交叉した時は早く入れた縄の方がいい．

松田(幸)：上はだめだ．

町田：よく釣れたからって，縄をよけいやりますか？

川端：それ以上やれば時間がかかるから，まあやらんね．

松田(正)：それでも無理して，やる人がいるからねえ．

西村：なんか特別の秘法はないか，秘法は．

池田：凍結能力なんかの関係でやれないことがありますね．1日完全に休むかわりに，縄を100鉢に減らすとか200鉢に減らすとかして，少しでもやれば，その縄に魚がついているということがないですか．

松田(正)：昼から100枚なり200枚なりやるということはない．

松田(幸)：だけど，大西洋で凍結が間に合わない程来る時は入れておけば入れておく程得だ．だから，200枚でも150枚でも入れた方がいい．休むと損だ．

松田(正)：そういうところは，釣れる魚と釣れるかなあという魚と解る．最後に死んでばかり来るようじゃやってもだめだ．

松田(幸)；今は無理しないが，戦争前の昭和10年頃南方でキハダが釣れて，縄揚げが夜明けまでかかると，そのまままた入れて行くんだ．そうなったら翌る日じゃ間に合わない．操業日数が短か

かったからそんな無理して働けたんじゃないですか．もう夜明け前であと100枚，50枚になったら，ともで縄を入れてしまうんです．

坂本：揚げるものは揚げ，入れるものは入れる．

松田(幸)：ああいう時は，入れておけば直ぐ揚げられるんだから時間なんか置く必要ないんです．

川端：沢山来る場合はね．

松田(幸)：今じゃ操業日数が長いからそんな無理しないだろう．

川端：だけど，さっき言われた昼から100枚やっておくというのはだめだ．

池田：昼からじゃだめですか．

松田(正)
小林：まあ，恐らく釣れんね．

川端：浮かしておいて，時間を置いても喰わないのは不思議です．縄を揚げながらやってる奴は喰っていても，おそくやった奴は喰わない．

松田(正)：餌も死んだ餌だったら，昼間入れても暗くなって始めて喰う場合もあるんだ．バチなんか．

川端：そりゃ，あっちこっち見ておいて，自分の喰うかげんが来て喰う場合があるからね．（笑声）．魚だってそうですよ．

町田：腹が張る程いやしいって言うじゃないか．

坂本：カツオなんか，腹がはってないと喰わない．

松田(正)：餌についているカツオなんかね．

松田(幸)：胃袋が張り切っているんだ．

川端：だから馬鹿になっちゃうんです．丘の小さい魚でもどんどんやる程喰う．そうでしょう．

西村：人間でも腹がふくれてくると頭がポーッとして来る．（笑声）

坂本：人間は腹が一杯になれば喰う気にならないよ．

堀合：人間でも喰うんでなくて飲む場合は……(爆笑)

池田：餌まいて，尻から出していてもまだ喰っていますね．そういう日の方が大釣りです．今餌の話が出たが，鮪船で凍結の船はなおさらだが，10屯釣った時に3屯位の餌を海の中で打っちゃっているんじゃないかと思うんです．そうした場合，使った餌を捨てないで，袋に入れ，せきやまのそばに付けて，においによって集魚させて見たらどうかと思うんですがどうでしょう．

松田(正)：切身の餌をですか．

池田：使った餌とか魚のはらわたなどそれから肝なんかも，肝代を稼ぐのもいいが，その肝をもっと利用すれば魚を釣るために更に役立つと思うんです．

松田(正)：魚は血はよくないね．

小林：前，母船が釣っていたそのあとには魚はいないですよ．

坂本：サメは悪い餌じゃ喰わないよ．切身も喰うけど悪い切身じゃ喰わない．

堀合：そういうのを使ってみて，10本でも20本でもとればもとをとっちゃうから，悪いことじゃないと思う．

松田(幸)：そういうことの出来るのは，漁のない時ですよ．

川端：そりゃ，そういうのは相模丸に持って行かして……ね．（笑声）
普通船にやれって言ったってそりゃやりませんよ．

中込：それで，相模で試験するのを今計画しているんです．

松田(正)：相模でも全部はやれないと思う．一つ各船に配って……．
こういうのに小さい魚が寄ってくる．それをあてにするという考え方を持てばいいんですよ．これを大きいバチやキハダの餌にするんだ．コマシでは一寸向かんがこれはだんだん散って落ちて行くでしょう．そうすれば小さい魚が寄って来ますよ．

川端：だけどこういうこともある．小さい魚が来るとこんどは餌のサンマも喰われるということがね．

松田(正)：まあ，喰われるわね．

川端：そうすると餌が落ちる率が多くなる．

松田(正)：ところによると，サンマが頭ばかりで上がってくることがあるね．小魚がいけないらしい．

川端：そういうことが出て来るんじゃないかと思うんです．……瀬の上とか，瀬の付近などやる時は往々にして出て来ると思う．

松田(幸)：前に，永井場長から話しのあった南方の木のにおいのする何という名だったかあれはどうですか．

池田：この前の座談会で，シャチが集って来て困ったとか．

松田(幸)：うちの10住にやらせたんだが．シャチとサメが沢山来て，魚も寄って来たが始末がつかなくて困ったと言って来た．

川端：そういうものなら，ニシンの油で漬けたイカがあるでしょう．クサイカ，あれを混ぜて漬けた

らどうです．

川端・坂本：あれは近海では絶対禁止されている．

松田(幸)：あれは，底の延縄でタイなんか釣るんだからマグロの場合あんなもの使っちゃだめだ．

堀合：魚に嗅覚ってあるんですか．

松田(幸)：眼より嗅覚の方が強いんじゃない．においで寄ってくるだろう．

川端：魚は眼より嗅覚の方があるんじゃない．だってそこいらでクサイカ使ってるのはビックリする程釣れるんだから．においがいいというのならクサイカを使ってみたらどうかと思う．

堀合：腐った魚の方がいいという……．

川端：そのにおいとまた違うんです．

西村：雌のにおいをつければ雄が皆釣れるよ（爆笑）．

町田：今の話しですがね，大きい魚例えばタチウオなんかあんな餌はよけい喰うようだね．

川端：ホンマグロなんかはタチ餌の大きい程いいね．

町田：やっぱりよけいにおいが強くつくからか．

松田(幸)：いやいや．においではなくてよく見えるからだ．大きければ大きい程よく見えるという訳だ．

町田：見る方よりにおう方が早いですか．

松田(正)：タチウオは光だよ．

川端：タチウオは光ですよ．

町田：やっぱりタチウオは光でしょう．

川端：光ですよ．

松田(正)：光ですね．においもあるんですけどね．

町田：寄って来ればにおいもあるでしょうけど．

川端：あれは特別真っ白くて，眼に反射する光がきついんだと思う．だから，白くなくて光のない大きいものでは喰わないということなんではないですか．昔はイカを使っていたがサンマに変わったというのは，サンマの腹が白いし，光がきついからいいんじゃないですか．だから，イワシでも肌のむけたイワシとむけないイワシとでは喰いがずっと違う．

松田(正)：サンマでもね，白いサンマとちがうサンマでは７割もちがう．

中込：魚は近視だとは言われています．

松田(幸)：町田が言うタチウオがよく喰うっていうのはそういう大きいものの方がよく見えるという訳だ．

川端：大きいから光の反射が強いんだ．

町田：だから．その光をみて，それから今度はにおいをかぐんだ．

池田：餌は大きい程釣れますか．

川端：大きい程いいと思いますね．

松田(正)：カジキなぞ，こんな長い奴をそのまま水と一緒に吸い込むでしょう．その勢いで皆頭から入っているんです．１m位離れていても，大きい魚は吸い込んじゃう．だから皆頭から入っています．

川端：魚はどんな魚でも．尾ッポから喰うというのはないんです．

町田：シャチは？

川端：あれは横にかむんじゃない．

松田(正)：シャチは別です．シャチはかむんだから（笑声）．

川端：あれだってシッポから喰わないで横から行きます．

堀合：あれはただかむだけで喰わないでしょう．何しろチョコッといたずらするみたいにやるだけだ．

坂本：いや喰うだろう．

松田(正)：解剖してもいないけどね．

池田：タイ釣りに，鴨居では，親釣りに孫釣りを使っていますが，大きい餌でいいものならマグロでも孫釣りをやって，チョイチョイと来て逃げる様な奴は孫釣りにひっかかり，パクッと喰う奴は親釣りにひっかかるというような……．

坂本：でも，マグロに孫釣り使っても魚はとれないでしょう．

松田(正)：どんな魚でも釣りが大きい程かかりがいいですが餌持ちの悪いのはだめだから小さいのを使うんで，釣りは大きい程いいです．

松田(幸)：マグロの餌にしてもそうだ．サンマよりサバの方がいいが持ち切れない．とても船に積み切れないです．

川端’それに，温度が高いと腹が切れてとれてしまうんです．

松田(幸)：だから，5.60貫以上のクロカワがほとんどキハダに喰っとるんです．キハダがサンマを喰った．それをまた喰っているんです．
クロカワで２本来たことがある．釣りが先の奴のえらからすっこ抜けて，その抜けた餌にまたクロカワが喰ったもんだから，「何だ変な魚が来るなあ」言うたら10貫位のクロカワが２本来たんですよ．よく見たら釣りは１本なんです．（笑声）．

池田：今の話しから，小さな孫釣りをつけておいて，餌の中に1本釣りをつけておく．一寸めんどうくさいが，遊びに来た魚がそれに喰いつき，そいつがまた餌になって大きい魚が喰うということはないでしょうか．タイ釣りでは，小さなタイは孫釣りにかかり，大きなタイで一辺にパクッと喰う奴は，親釣りに喰うという様なことを言っています．

松田(幸)：そういうこともあるかも解らん．

松田(正)：一番最初カツオがサンマを喰って．キハダがカツオを喰って，クロカワがキハダを喰うっていう様に3回ばかり喰ってることがある．

松田(幸)：マグロの場合は，使ってもだめです．戦前東沖で使ったことがあるんだ．大きい釣りの下にトンボの小さい釣りをつけたが，サメとかクロカワが来たら縄にさわれないしもつれが来た時には，危くてもう処置なしだ．何しろ小さい釣りが間に入っとるんだから…….

池田：作業を容易にするために，皆さんも研究されてると思いますが，例えばセキヤマを巻くのに非常に時間と労力がかかるし，釣元ワイヤー巻くのはわりあい簡単だという様なことがよく言われるんですが，（品物を示し）これは，タニープレッサーといって，セキヤマをプレスして，人が巻いたのと同じ以上の強力を持たせるように考えたんですが，こういうのはいかがでしょうか．

川端：機械でやるんですか．

池田：そうです．機械でプレスして……．今，相模丸で400本持って行って試験しています．

松田(幸)：船じゃ，こんなの巻く暇はいくらでもあるからね．

池田：これから外地操業される船も多いと思いますが，向こうへ行ってまで忙しい思いをするのはお気の毒だと思いましてね．

松田(幸)：安けりゃ何でも直ぐに使ってみるけれど…….

池田：ひっぱった時は撚りが戻らないで，一寸ゆるんだ時にパラパラと戻るのが普通だが，（品物を示し）このベアリング入りサルカンは引っ張った時でも撚りが戻ります．こんなのどうですか．

松田(正)：それは値段が高いでしょう．

池田：100円です．

松田(正)：そりゃ使い切れない．（爆笑）．

堀合：その材質は何ですか．

池田：ステンレスですからさびないです．曳縄にも使います．

坂本：そのサルカンは曳縄にはいいだろう．

堀合：持ちがよくて，もつれが少なければ今使っているフタバサルカンを買うのとあまり差はないでしょう．中にボールが入っているならいたみにくいわけですね．

7. シャチの被害について

松田(幸)：この前の座談会の時話しに出たけど，今シャチの被害の資料を集めてるんです．西村君にやってもらっているんだけど，これがまたなかなか集まらない．

小林：シャチは，音じゃ逃げないんですか．

松田(幸)：電蓄で逃げる．普通のじゃだめだ，この辺じゃ近所が怒るような，声にならないようなすごい音でグァーと鳴らして，シャチの方へ向けるんだ．そうすれば1時間位したらいなくなっちゃう．

小林：おれはいいレコードかけるんだが寄ってくる．（爆笑）．

松田(幸)：音を強くしなきゃだめだ．

川端：でも，イルカはそんなに強くなくとも，竹の音で逃げるんですからね．

松田(幸)：海上電機や沼津の産研で研究してます．電波出す奴でね．だからシャチの資料が早く集まるといいんだが．

坂本：たしかに鉄砲がいいんだがこれは許可がとれるかとれないかということが問題なんだ．

池田：皆でちんじょうすれば，そういう様な許可はとれるでしょう．

松田(幸)：戦争中に鯨を撃ったが平気で浮いていた．当るところが悪かったんだろうが．

堀合：まあ，それに比べればシャチは小さいですからね．

8. 「鮪漁業」誌の内容について

中込：それでは，最後に，マグロ漁業研究会の会誌の「マグロ漁業」をおとりになっている方々にお聞きします．会誌の中に漁況予報，何月にはどこの漁場でどの位釣れるかということを載せて

います．これは，また日本経済新聞社，時事通信社にも出していますし，超短波利用組合から放送もしておりますが，当るも八け当らぬも八けなぞと言われており，これからも継続していく程の価値があるかどうか，御意見をお聞かせ下さい．

松田(正)：それは，前の年のとか，年々の資料とかから出してあるんでしょう．

中込：昭和27年にマッカーサーラインがとれてから現在までの資料をもとにして出しています．

松田(正)：それでしたら，漁撈長なら，その位の資料は持っていると思うんです．それに，マグロ漁業の会誌をみれば，前の年のが出ているから，それで間に合っていくんじゃないですか．私はそう思うけど．

中込：そうしますと，漁況報告の方は続けていった方がいいでしょうか．

松田(幸)：それは，2，3ヵ月遅れてきても来年の分に間に合いますからね．

川端：ぼくはその「マグロ漁業」というのを見たことがないんだ．(爆笑)．

松田(幸)：協会でとっている．ここにあります．

川端：ぼくは，その表紙は見てるけど，内容はまだ見たことがない．ここへは来るから，ああ「マグロ漁業」という本があるんだなあと思っていた．

松田(正)：（川端氏に）内容はね，2，3ヵ月遅れるけど，マグロの漁況とか三崎の相場とかそういうものがのっているんです．

西村：よく漁撈長に聞くんですが，入港した時に，昨日の各船の漁模様を見たいと言うんです．

松田(幸)：10日毎に出てるよ（漁況速報のこと）．

西村：10日毎じゃなく，現在日報が出てるでしょう．あれに漁模様を入れて．

松田(幸)：だから，それを集録して10日毎に出してるんだ．

中込：それはまだ始めて間がないから知らない人もいるでしょう．

西村：相模1隻の報告でしょう．

中込：そうでなくて，今度操業船が資料を相模に打って来ますね，それを相模でまとめて，こちらへ送ってくる様になったのです．

西村：ところが，その船の数ですが，印度洋なんかでは20隻も30隻もおるでしょうがそのうちの2隻か3隻でしょう．

中込：いいえ，今は相当の数に上ります．

松田(幸)：ほとんどの船が入ってる．

中込：相模から，そうとうの数の資料を送って来ますし，その外に大冨士とか，愛媛とか，三浦丸も送ってくれます．

松田(幸)：毎日というのはいらないんじゃないのかな．

松田(正)：漁撈長としては，どこで釣れるかその日のを知りたいんです．どの漁撈長も欲しがっているのは確かですね．

西村：それで無線協会でも漁撈長協会でもいいから，受信所を設けて丘で傍受させる．ただ，電波法にひっかかるんじゃないかと思うが，それを試験場で検討してもらいたいものです．

中込：今度，高速度通信方式を新しく採用して送ってもらうように計画しています．また，電波法の方もいろいろむずかしい点があり，担当者（永井場長，河口科長，梅津通信科長，鈴木技師）が苦労しています．

松田(正)：これはですね，印度洋では昨日どの位釣っていたか，ということが大体わかればいいです．どの漁場には凡そどの位というように大まかでいいんです．

西村：日報に，漁全くなし，と書いてありますが，あれの代りに北緯何度，東経何度，キワいくつ，バチいくつという様に書けばいいんです．

松田(正)：だから，会社へ行けばわかるけど，それでなきゃわかんないですよ．

中込：最初は1隻毎の資料を相模から送ってもらっていましたから，そういう資料もありました．ですが，それでは現在の丘の陣容ではとても処理出来ませんので，今度は，相模で海区，旬毎に整理して，それを送ってもらうということになったのです．それですから，三崎無線関係の資料は先ず欠けることはありませんし，また足りない分は，他の試験船や会社なぞに頼んでいますから，現在はぬけている船があるということも殆んどないと思います．

川端：こういうものがあると言っても，各団体へ行ってるだけなんでしょう，これは．

松田(幸)：いや，協会へ入ってる船は，港を出る時皆持っていってるよ．とりに来る，

中込：試験場へとりに来ればさし上げます．

川端：清水なんかはいいことがあるんです．あそこに研究所があるでしょう．あそこから，入る度に

来るんだ．その時（速報を示して）こういうものを持って来るんだ．船に言われた場合は書いて行きますがね．日誌を持って行くんです．2日なら2日借して下さいと言ってね．そうして，2日たつと，日誌と一緒にこういうものをつけて持って来るんだ．日誌をもっていってそれを写し，それをプリントして各船に渡す訳です．

西村：日誌だけじゃないです．局長のところへ行って傍受した各船の模様なんかも持って行きます．

川端：全部持って行きます．あれはいいと思う．だから，こういうものも積極的にやれば，資料はくれると思うんです．

松田(幸)：それだけ焼津や清水当りは三崎当りよりマグロに関しては遅れてるから，釣れるように皆が協力しようという考えがあるから幸だよ．

川端：いや，現在では三崎の方が遅れてる．研究することなどはね．

松田(幸)：だからさ，遅れているから皆が研究しようとするんだよ．三崎は，そんな研究しなくったって釣って見せるという頭を持っているから考えが古いんだ．

川端：古いね．

松田(幸)：それで三崎はだんだん遅れていくんだ．

川端：三崎は遅れて来ますよ．

堀合：だんだんに遅れる程度には実績があったんだけど（笑声）．それに追いつこうと思って研究している訳ですね．

松田(幸)：三崎の並みの船員が，焼津へ行けば甲板長をやると言うんだし，普通の船員でも配当が違うと言うんだ．

坂本：それだけレベルが上だったんだ．

松田(幸)：現在のままでいったら三崎の方がずっと遅れてしまう．

中込：それでは，結論は．漁況速報と漁況報告は是非とも続けて欲しい，漁況予報はそれ程必要がない，まあそういったところですね．

それから，「鮪漁業」に随時いろいろの原稿を掲載しておりますが，それに対して御希望や御意見があったらお聞かせ下さい．

松田(幸)：この間河口さんに話したんだが．外地へ行った人にシンガポール，サモア，コロンボそういったところの入港について聞いておいて，そんなことを載せて欲しいと思う．

松田(正)：どこの港に入ったらどういうことが出来るとかどういうとこが入れるとか，例えば区域に入ったらどうするとか，緊急入域出来ることなど，それを知らなかったら困るんだからね．

松田(幸)：協会で出ているのは手続きだけだ．

川端：そういうものを載せてもらいたい訳です．

中込：それから会員リポートという欄を設けて，皆さんが送ってくれた漁況とか海況とか，感じたことそのほか意見などを載せていますが，今後もどしどし送って戴きたいのです．こちらから我々が資料を写させて戴きに船に参りますから，そんな時お渡し下されば，大変好都合です．

池田：それから，皆さんが沖で研究されることがありますね．そういったことについて投稿発表して戴くといいんです．時々新しい漁具の紹介などもやっていますが，あまり宣伝臭がつくとかえっていやがられることがありますし，（笑声）その点，適当にやっておりますが……．

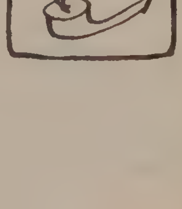
堀合：ただ，我々がそういうのを書くということは，簡単にという訳にいかない．心構えを決めていって常に沖で考えていなければね．

松田(幸)：最近うちの大西洋へ行ってる船は，初めての港に入ると，港の略図を入れて，冷蔵庫がどこにあって，設備がどうとか，そういうことなど書いています．

池田：そういうことなどを転載さして戴いても大変参考になると思います．

堀合：カメラがあれば，それで撮って，写真を入れてもいいんですね．

中込：では，今日はこの辺で．どうも色々有難うございました．



◀鮪漁業関連会社誌上訪問▶　①

＝冷凍機工場＝

日 新 興 業 株 式 会 社

本　社　大阪市北区中之島3ノ3（朝日ビル）
工　場　大阪市東淀川区木川西之町6ノ55
東京支店　東京都中央区銀座西6ノ3（朝日ビル）

'61年はわが国まぐろ漁業の一層の飛躍の年だが，新春1月号よりその有力なバツクボーンをなす，関連企業の会社・工場にスポツトをあて，順をおつて紹介してみよう.　　編集部

中埜社長

約束の9時半かっきり，朝日ビルにある日新興業の本社を訪れた.

応接にでた中埜社長は恰幅のよい老紳士だ. 霜を頂いた童顔はたえず微笑をたたえていかにも好人物という感じだ.

当社は，来る12月4日で創業15周年を迎えることになる.

主たる業務は，各種冷却装置の設計，製作，施工であるが，とくに遠洋漁船の冷却装置は，全体の約8割を施工し，（漁船数1,000隻）日本一の実績を誇っている.

国内800に余る同業他社を抜いて，今日の地位を確保した要因は，並々ならぬ努力と，優秀卓絶した技術に負うところが大きい。

が，それだけではない，当社には創業いらい一貫した独自の営業憲法がある.

—誠実，そしてただ誠実—社の信義を貫くためには，利益を度外視しても完全施工に徹することだ. あたりまえのことといえばそれまでだがそれが，なかなか難しい.

受注品について，妙味のない場合でも，これはあまり儲けがないなどということは，現場の人たちには知らせないことにしている.

工事に対する熱意を阻害して，ヤッツケ仕事に終らせないためだ. つねに自社製品に対する誇りと責任をもたせている. こんな話がある.

某県水産試験場の指導船の冷却装置を施工して，愈々引渡すという段になってパイプの亜鉛メッキに不良箇所を発見したときのことである. 現場担当者は将来事故発生の憂いはあるが，当分の間は操業に支障はないと認定した. これを聞いた中埜社長は，数日後に処女航海の首途を祝うレセプションを控えていたが，断乎として工事のやり直しを命じた.

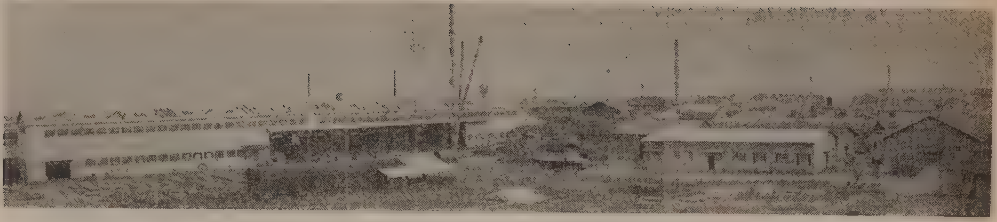
県当局は行事日程の急変で，来賓その他に迷惑をかけたとしてカンカンになって怒ったが，完工後お詫びに行った中埜社長に対し，よくやってくれた. これからは本県関係の工事は全部君の社に任せる. と深い信頼をよせられて面目を施したという一幕があった.

確信をもてない場合は，絶対に工事の引渡しをしてはならぬという方針，これが当社の特色でない特色だ.

◇三国工場を訪う

石郷岡工場長

ひるすぎ，中埜社長の案内で三国工場に向う. 昨日の降雨で，埃はたたなかったが，空も地も灰一色におおわれて，まが



三 国 工 場 全 景

うかたなき煙の都だ.

三国工場は，国鉄の新大阪駅予定地に近い東淀川区木川西之町6にある.

敷地5,000坪強，建物の主なものは機械工場，ガス溶接工場，ベンダー工場，倉庫などを含めて7棟（1,180坪）が，コの字型に建てられている.

ここで，冷凍機工業界の発展の背景をなす漁業界の推移をふりかえってみよう.

漁船の冷却装置は，戦後，水産物の高度利用という観点からとりあげられたもので，当初生モノを砕氷でまぶして冷却（空槽で摂氏5度）する，いわゆる砕氷冷却であった.

戦後，水産物の売手市場であった時代はそれでよかったが，食糧事情の好転に伴って鮮度競争がはげしくなり，経済的要請から急速冷凍機の需要は急ピッチで高まった.

また，終戦直後，漁船の行動範囲はマッカーサーライン内に抑えられていたため鮪漁船は135屯型であった．その後，ラインの撤廃と同時に漁場は南太平洋から印度洋へと拡大され，そしてさいきんでは大西洋漁場への進出に伴って，漁船は大型化し，300屯から500屯，1,000屯，最大のものは2,000屯と超大型漁船が建造されるようになった.

冷凍機も当初の135屯型の船にせいぜい10馬力くらいのものであったのが，さいきんでは，50馬力から200馬力という大型冷凍機を据えつけるようになった.

とくに大西洋方面へ出漁する船は，全船，急速冷凍機を備えるようになったため，冷凍機の需要は爆発的に急増した.

旧豊崎工場の能力では，新情勢に対応できなくなったため，昭和32年12月三国工場の建設へ踏み切ったものである.

当工場の建設に当った石郷岡工場長の案内で見学することにした.

工場現業員は全部で200人ということだが，作業場が分れているためであろうそれほどいるようには思えなかった.

当工場で消費する毎月の原材料消費量は，鋼板，形鋼で約150屯，パイプで150屯合計300屯というから，中小企業としてはかなりの規模といってよかろう.

原材料の仕入先は，川鉄と住友金属の2社にしぼって，一切他社のものは使わないということだ．ガス溶接工場に入ると，青白い火花をちらしてパイプの溶接が行なわれている.

さいきん，板，アングル，パイプメーカーが多くなったが，溶接技術が重視されてきた．溶接では当社の技術水準はかなり高い．つねに表彰されて業界の注視するところとなっている．とくに溶接の良否を判定する試験設備（レントゲンを通して検査する）は群を抜いている.

製缶工場と機械工場の上部には2基のクレーンが動いて，重量物をこともなげに運んでいる．空地の中央に高くそびえた3屯クレーンが2基，凝縮機を捲き上げるところだ.

冷凍機は従来，大型船のみが据えつけていたが，さいきん39屯型の近海漁船が据えつける傾向にあるので，今後小型漁船の工事は一段と繁忙を呈することになろうという見通しだ．これまでの冷却装置はすべて受注工事であったが，今後は，規格を作って量産によるコストダウンで，大いに漁業者にサービスしようと構想を練っている.

今までは品質第一主義をとってきたが，技術面では大体満足すべき状態に達したので，今後は安い，良い品を提供したいと石郷岡工場長は語っていた.

新らしい需要増大に備えて，現工場の空地約2,000坪に拡張工事を行なうと共に新工場の建設を考慮中とある．

業績に眼を転じよう．当社の35年3月期の売上高は8億5千万円で計上利益は5千8百万円と前年同期より夫々3億3百万円の増収，2千5百万円の増益で2割配当を据置いた．対資本利益率は58割と比類稀れなる高収益を示している．

受注高は，4月より9月までの6ヵ月間に6億7千9百万円と急増し，このところ毎月1億円余りの売上げを示しており，来年3月期の売上高予想は12億円を上廻ることになろう．つれて利益も増加しよう．

売上高の部門別内訳は，船舶83.9%，陸上4.7%，化工機11.4%となっている．

驚いたことは，当社の払込資本金は創立いらい1回の増資もなく，100万円のまま据置かれていることだ．内部留保は毎期積増して，現在利益剰余金勘定だけで6,100万円あるのに二度びっくり．

このような好成績を誇ることができるのも，当社の経営スタッフが粒揃いの人材で固められているからだ．中埜社長はいわずもがな，営業面には敏腕卓絶の千種専務あり，東京探題には佐野常務，工務部長の佐藤常務は，40余年を冷凍機一筋に生きてきた人だけに，冷凍機のことなら何でもこいだ．三国工場の建設者である石郷岡常務は，力あり夢ありの，技術者としては，巾のひろい視野の持主で揺ぎない生産管理を行なっている．

たそがれ迫る5時，三国工場を後にすると，夕靄が淀の川面におおいかぶさろうとしていた．

（昭和35年11月取材　編集部）

賀　正

昭和36年元旦

日本鰹鮪漁業協同組合連合会 日本鰹鮪漁業者協会	日本かつを・まぐろ 漁業信用基金協会	日本鰹鮪漁船保険組合
会長 浜地文平 副会長 増田正一 常務理事 小出勲男	理事長 浜地文平 専務理事 細川実衛	組合長 浜地文平 副組合長 清滝千代夫 同 増田正一 常務理事 小出勲男

東京都千代田区平河町2ノ7　鰹鮪会館内　電話 九段（331）5561～5番（共通）

三崎石油協会

出光興産	吉沢石油	日本民衆産業
阿部喜商店	東亜石油	三崎石油
亀井商店	湊商事	神奈川県漁連
下竹石油	香山商店	昭和鉱油

神奈川県三崎港

＝消 息 欄＝

新 会 員（35年12月～36年1月）

番号	氏 名（名称）	住 所（所 属）	摘 要
925	山 村 義 和	第2海幸丸（在南米）	室戸岬船員同志会（浦賀）気付
926	石 田 昌 夫	東京都中央区月島東海区水産研究所	
927	草 山 新 作	東京都中央区築地東都水産ＫＫ内	第三欣栄丸漁撈長
928	株式会社吉田商店	青森県八戸市大字湊町字下条8の2	（3部購読申込）

異 動（退会 昭和35年12月～昭和36年1月）

361	八 幡 米 一 郎	新潟市西港町2ノ2677	35年12月退会
444	太 平 物 産 Ｋ Ｋ	東京都中央区築地4ノ11 大石ビル	〃
649	北 村 千 代 亀	高知県室戸市室戸岬町三津	〃
698	橋 本 一 義	横須賀市浦賀室戸岬船員同志会	36年1月退会

本会の図書誌の分譲其の他について

◎本会発行の図書誌を下記の通り分譲致しておりますから御希望の向は御申込下さい。

会 誌「鮪 漁 業」 第6—75号（第1—5号品切） 各150円 郵送料 16円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 27 年 5 月 至昭和 28 年 4 月）
1 部 300円 （B 5 判 150 頁） 郵送料 40円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 28 年 5 月 至昭和 29 年 3 月）
1 部 400円 （B 5 判 226 頁） 郵送料 40円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 29 年 4 月 至昭和 30 年 3 月）
1 部 300円 （送料を含む）（B 5 判 126 頁）

鮪類水揚地調査報告（自昭和 30 年 4 月 至昭和 31 年 3 月）
1 部 400円 （送料を含む）（B 5 判 135 頁）

1956年4月～57年3月に於ける鮪漁場の漁況と海況
1 部 500円 （送料共）（B 5 判 112 頁）

1957年4月～58年3月に於ける鮪漁場の漁況と海況
1 部 400円 （送料共）（B 5 判 85 頁）

鮪 漁 船 操 業 図（航走距離早見表、鮪類年令対体長体重表刷込）
1 枚 50円 郵送料 8円

鮪 漁 場 図（海区別に表示したもの）
10 枚 100円 郵送料 16円

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費 1,500 円（郵送希望の方は他に送料 200 円）を添えて本会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

—— お 願 い ——

◎大変恐縮ながら昭和34年分35年分会費（一ヵ年分 1,700 円）未納の方は本会宛至急払込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。 尚整理の都合もあり会費切れの向には一時会誌の送本を中止することもありますからお含み願いあげます。

鮪 漁 業

1961年新年号

昭和 36 年 1 月 10 日 印 刷
昭和 36 年 1 月 10 日 発 行

監 修 神奈川県水産試験場
編集兼発行人 菅 野 進
神奈川県三浦市 神奈川県水産試験場内
発 行 所 鮪 漁 業 研 究 会

遠洋漁船の建造、修理の御用命は

下田船渠株式会社

取締役社長　沢村正三

本　社　静岡県賀茂郡下田町1181　電話(下田局)1001番(代表)～9番
東京事務所　中央区銀座東4ノ4畜産会館1階　電話(541)9272番(直通)

謹

三崎船舶工業株式会社

取締役社長　平井顕

神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎2446番地
電話(三浦)3141番(代)

最高級冷凍機油・スニソオイルの御用命は
米国サンオイル社特約販売店

日本興産株式会社

本社　東京都千代田区神田紺屋町137(丸喜ビル)
電話(551)5471番　(291)2091番
出張所　大阪市西区立売堀北通1(立売堀ビル)日本通商内
電話(53)0303・0437番

賀

船具漁具・海洋調査測器・舶用計機械・理化学機器・漁業資材

日本民衆産業株式会社三崎出張所

神奈川県三浦市三崎町仲崎36番地
電話(三浦)2505・3503番
本　社　東京都中央区月島西仲通9ノ10　かちどきビル内
電話(531)0392番
下関営業所　下関市西細江町(市民会館内)　電話下関45番

新

株式会社 **横浜銀行三崎支店**

支店長　尾崎音治郎

年

—1961年
元旦—

鮪漁業研究会

会長　菅野進
副会長　四宮秀雄
専務理事　伊藤順男

神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎
電話三浦(代表)2105番

神奈川県水産試験場

場長　永井三夫
他一同

神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎　電話三浦(代表)2105・3218番

謹賀新年

―1961―

西松

神奈川県三浦市三崎町宮城13ノ2

有限会社　西　松　商　店

代表取締役社長　湊　勝　雄

専務取締役　相　原　寛　治

電話（三浦）{3227・3327 / 2969・2607}

クレモナ延縄・テトロン延縄・ナイロン延縄・その他各種合成
繊維ロープ・撚糸・マニラ麻ロープ・サイザル麻ロープ・各種漁網

東京製綱株式会社蒲郡工場

工場長　平　井　正　夫

愛知県蒲郡市豊岡町中村1ノ1

営業内容　綿 クレモナ　鮪延縄　綿撚糸　製造販売

倉敷レイヨン株式会社　クレモナ延縄指定工場

山　田　撚　糸　株　式　会　社

本社工場　八尾市大字亀井　電話（東住吉）559・2113
東京営業所　東京都品川区西戸越2ノ672　電話荏原（781）6553

船　具・漁　具　一　式
船内消毒　（アペックス産業代理店）
サクラコート　（今泉レジン代理店）

三　崎　漁　業　資　材　株　式　会　社

番神奈川県三浦市三崎町花暮138　電話三浦2449・2275番

各種船舶並に漁船新造修理
炭砿機械一般鉄構製品其の他製作

三菱造船株式會社
下関造船所

下関市大字彦島1130番地の10
電話　代表　下関② 8111番

謹賀新年

一九六一年
元旦

財団法人
日本冷凍食品検査協会
理事長 稲村桂吾
東京都千代田区霞ヶ関3ノ3（鋼鈑ビル）
電話東京（591）4604・7680・9028・9029番

日本冷凍食品輸出組合
理事長 中部謙吉　副理事長 西島東
副理事長 川口順次郎　〃 吉田駒三
〃 下田清　専務理事 久松義男
〃 得田典男
東京都千代田区霞ヶ関3ノ3（鋼鈑ビル内）
電話東京（591）2865・8652・8653番

日本輸出冷凍鮪販売株式会社
取締役社長 中部謙吉
取締役副社長 三宅二一郎
取締役副社長 寺本正市
東京都千代田区霞ヶ関3ノ3（鋼鈑ビル）
電話東京（591）8586—7・8848—9番

株式会社 東京商店
本社営業部 東京都中央区銀座西2ノ3 中島ビル
電話（561）0664・5090・5091（535）3069・3070
経理部 東京都千代田区丸ノ内丸ビル759号
電話（201）3451・8811番
清水冷凍工場 静岡県清水市八千代町2ノ26
電話清水（2）1901・6432・7745番

冷凍鮪輸出水産業組合
理事長 中部謙吉
副理事長 三宅二一郎
副理事長 増田正一
専務理事 安達義治
東京都千代田区平河町2丁目7番地
電話（301）2555—6番

輸出ヴィタミン油・缶詰・冷凍魚
遠洋漁業・各種魚類肝臓買付
湘南水産工業株式会社
東邦食品工業株式会社
神奈川県三浦市三崎町二町谷3806ノ4
電話三浦（代）3155・（代）3178番

船具・漁具・其の他一般工具
株式会社 山星船具店
神奈川県三浦市三崎町花暮125
電話三浦2965・3663番

三崎漁港管理事務所
所長 若生光一
他一同
神奈川県三浦市三崎町六合2451
電話三浦3584番

謹賀新年

製氷冷蔵・凍結餌料
三崎遠洋漁船製氷株式会社
取締役社長　四宮秀雄
三浦市三崎町向ヶ崎　電話（三浦）3356・3372番

第三十振興丸
石渡庄次
石渡春吉
石渡喜久司
神奈川県三浦市三崎町西浜46　電話（三浦）2760・3643番

漁船の氷・餌料の仕入は三崎漁連へ
三崎漁業協同組合連合会（製氷冷凍工場）
会長　寺本正市
神奈川県三浦市三崎港　電話（三浦）3145番

(漁) 三崎沿岸漁業協同組合連合会
会長　宇田川勝次
神奈川県三浦市三崎町西野92番地
電話　販売所（代）3161番　冷凍工場3406番

横須賀市長
長野正義

大漁迎春
三浦市長
三崎漁港振興協議会長　矢島晴夫

＝1961年
元旦＝

漁業者の御定宿
岬陽館
三浦三崎港
電話（三浦）2101（代表）・2102・2103

割烹旅館
温泉亭
神奈川県三浦市三崎町日ノ出
電話三浦（代）3118・3119番

謹賀新年

一九六一年
元旦

東造船株式会社
取締役社長　平山清光
本社及工場　横須賀市本町3丁目　電話横須賀（代表）4780番
東京営業所　東京都港区芝新橋4丁目1番地（新橋ビル3階）
電話銀座(57)代表9201番

まぐろ船用最新鋭機器
川崎ヘルショウ式電動油圧舵取機・特許川崎式造水装置
川崎エッシャ・ウイス式可変ピッチプロペラ
川崎重工業株式會社
本社　神戸市生田区東川崎町2ノ14
東京支店　東京都港区芝田村町1ノ1日比谷ビル

漁船用中短波無線送受信装置
漁船用中短波無線電話装置
作製工事販売保守一式
合資会社　三崎無線電機工業所
本社・営業所　三浦市三崎町仲崎187　電話（三浦）3431番
電化部　三浦市三崎町仲崎167　電話（三浦）2543番
電工部　三浦市三崎町原3163　電話（三浦）2864番
工場　三浦市三崎町原660　電話（三浦）2960番

山田物産株式会社
社長　山田輝男
神奈川県三浦市三崎町通り矢2191
電話三浦3195－7番

正冷
正一漁業株式会社冷凍工場
宮城県石巻市湊御所裏55　電話石巻局代表458・工場長宅2192
取締役社長　四野見松治郎
取締役工場長　四野見留蔵
冷凍・冷蔵業・漁撈用餌料・水産物の売買並びに加工販売

共和丸漁業生産組合
下里和須蔵
神奈川県三浦市三崎町六合2446
電話（三浦）3016・3678番

城ヶ島遠洋漁業生産組合
組合長　安達三郎
神奈川県三浦市三崎町宮城103番地
電話（三浦）2728番

健康な身体を保つ
純良医薬品
有限会社　佐藤薬局
三浦三崎港
本店電話3577番
支店電話2610番

全漁連系統燃油・綿・クレモナ撚糸製造販売
船用機器類・漁業資材取扱
神奈川県漁業協同組合連合会
三崎出張所
所長　野本明
三浦市三崎町花暮157
電話（三浦）3430番

謹賀新年

事業内容　北洋母船式鮭鱒漁業・北洋母船式底延縄漁業
遠洋鮪漁業・冷凍冷蔵事業

函館公海漁業株式会社

本　社　函館市仲浜町46　電話函館代表2131番
東京支店　東京都港区芝新橋4ノ1（新橋ビル4階）
電話(571)代表9201・9221・直通8001～3

奥津水産株式会社

取締役社長　奥津政五郎

神奈川県三浦市三崎町花暮182
電話（三浦）3608番

五洋水産株式会式

本　社　東京都千代田区丸ノ内2の2（丸ビル6階）
電話（201）4684番
三崎営業所　神奈川県三浦市三崎町六合3806
電話（三浦）代表3135番

大黒丸

徳南水産株式会社

社長　小島政夫

神奈川県三浦市三崎町仲崎261
電話三浦（代表）3111番

光栄丸

金沢徳尾

神奈川県三浦市三崎町花暮132番地
電話　2321・2836番

山村大黒丸

山村利久

神奈川県三浦市三崎町花暮163番地
電話三浦（代表）3116番

一九六一年
元旦

温泉・割烹旅館

東館

三浦市三崎町諏訪
電話（三浦）2029番

村松印刷株式会社

社長　村松節夫

本社　横須賀市大滝町2ノ15
電話横須賀254・957番
工場　横浜市金沢区六浦町4033
電話（7）9992・9993・9131番

謹賀新年

—1961年 元旦—

日新興業株式会社

本社　大阪市北区中之島3ノ3（朝日ビル）電話(23)代表9736番
東京支店　東京都中央区銀座3ノ3（朝日ビル）電話(571)代表7607番

有限会社 山下釣漁具製作所
代表取締役 山下楠太郎
本社　三浦市三崎町花暮141 電話三浦2349番
出張所　焼津市中港町 電話焼津3307番

魚群探知機
音響測深機
強力発音機

音響測深機 ニューテレビグラフ 魚群探知機
（特許庁長官賞 中小企業庁長官賞 日本商工会議所会頭賞 受賞）

株式会社 産研
本社・工場　静岡県沼津市千本郷林1907（沼津港）電話(沼津) 1626・4543
東京営業所　東京都千代田区神田鍛治町22 今川橋ビル）電話(神田)(251) 0381・5444

日本無線代理店
三崎日本無線
番神奈川県三浦市三崎町仲崎 185 電話三浦 2888番

神奈川県漁業無線協会
会長 長崎勝平
主事 川崎淳一郎
神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎
電話（三浦）3218番

各種鋼製漁船の建造並びに修理
株式会社 金指造船所
本社工場　清水市三保4010—19　電話 清水(2) 4111～5番
塚間工場　清水市三保弁天492　電話 清水(2) 5151～2番
東京事務所　東京都港区芝田村町3ノ4　電話 芝(591) 1306～8番
三崎出張所　三浦市三崎町西野34　電話（三浦）2851番

謹賀新年

—1961年元旦—

順光漁業株式会社
代表取締役 水野平吉
神奈川県三浦市三崎町花暮 146
電話(三浦)3077・3221番

崎吉漁業株式会社
東京都中央区明石町51
日本海員掖済会ビル内
電話 (541) 2163～4番

横須賀市浦賀港
遠洋漁業 高知丸
上原虎松
電話(浦賀)150番

有限会社 高知屋造船所
電話(浦賀)216・472番

(は) 大洋漁業株式会社
三崎営業所 所長 長崎勝平
三崎営業所 神奈川県三浦市三崎町仲崎190 電話三浦(代表)2151・1241

東洋燻蒸株式会社
横浜支社
横浜市神奈川区栄町2ノ27
電話 (74) 3324番
三崎連絡所 三浦市三崎町花暮
石田商店
電話 3548番

三崎船長航海士協会
会長理事 若生光一
三浦市三崎町花暮
電話(三浦)2071番

◇新時代の冷凍機◇
(高速多気筒)
ダイヤ冷凍機
(新三菱重工製)
漁船船舶冷凍装置・製氷冷蔵凍結施設
設計・製作・施工

株式会社 東洋製作所
本社・工場 東京都品川区東品川5の61
電話 大崎 (491) 代表 2171—9番 (491) 2170・6004番 営業部直通
営業所 大阪市北区梅田町47 (新阪神ビル)
電話 (36) 代表 0974—5 (36) 2171—9 (内線350—1)

謹

全国水産高等学校実習船運営協会
全国高等学校長協会水産部会
理事長　本　間　久　吉
千葉県館山市長須賀155番地
千葉県立安房水産高等学校内
電話（館山）310番・1240番

日本鰹鮪漁業協同組合連合会特約代理店
シンガポール新大和公司
船舶代理店業・船舶食料品販売業
愛媛県立弓削商船学校卒業　社長　高　健　文　高橋健吾（旧姓）
SHIN TAI HO & CO.
NO. 4 STANLEY STREET SINGAPORE-1
〒信略号 "YAMATO SINGAPORE" 電話 78485, 78560, 78567
新大和公司東京事務所　東京都千代田区九段1—4蜂谷ビル内
電話（301）1835番

賀

新

社団法人
大　日　本　水　産　会
東京都港区赤坂溜池1番地（三会堂ビル）
電話赤坂（481）代表8781番

海　幸　漁　業　株　式　会　社
代表取締役
専務取締役　岸　部　豊　悦
東京都中央区明石町51　電話（541）2165番

年

—1961年
元　旦—

高知県室戸岬漁業協同組合
浦　賀　出　張　所
所長釣　井　高　明
外　職　員　一　同
横須賀市西浦賀町1ノ9
電話浦賀135・655番

徳　島　水　産　株　式　会　社
本　社　福岡市北湊町108—2　電話(2)1058・3018・6990番
東京支店　東京都中央区月島12—2　電話（531）1959番

漁船修理30年の経験・親切で安い
静　浦　ド　ッ　ク
船の為には乾ドックに限ります
乾ドック2基（800トン・250トン）上架線4基
沼津江ノ浦港・電話江ノ浦11・111番

謹

琉球水産株式会社
社長 長嶺彦昌
沖縄那覇市西新町2ノ7

神奈川県漁港協会
会長 矢島晴夫
横浜市中区日本大通1　神奈川県庁水産課内

賀

新

神奈川県漁船保険組合
組合長 矢板開一
外役職員一同
横浜市中区日本大通　神奈川県庁水産課内
電話 横浜 (2) 4921番

面白い程獲れる……
ナイロン鱗光延縄
芦森工業株式会社
本店 大阪市東区横堀4ノ15 電話 27 7031(代表)
支店 東京都中央区日本橋本町3ノ1 電話(241) 2526・2857・7450

年

営業品目 漁網・延縄・漁具・製造販売 船具・機械電気用品販売 石油元売
日本漁網船具株式会社
本社 東京丸ビル6階 電話(201)代表1841番
営業所 下関・函館・大阪・戸畑・長崎
出張所 釧路・札幌・小樽・仙台・名古屋
油槽所 川崎・女川・下関・名古屋
工場 下関・函館・釧路・小樽

合成繊維とマニラ麻の
漁網・ロープ・岩糸・延縄
古い伝統・新らしい技術
品質本位
市川漁網製造株式会社
愛知県宝飯郡形原町

—1960年
元旦—

三崎港遠洋漁船船員
消費生活協同組合
組合長 寺島幸太郎
専務理事 林藤一郎
神奈川県三浦市三崎町花暮181
電話(三浦)代表3131番

三洋資材株式会社
神奈川県三浦市三崎町仲崎103
電話 三浦 3006番

謹賀新年

焼津漁業協同組合　電話(代)3111・4191番
組合長理事　近藤久一郎
専務理事　滝口佐左ヱ門
常務理事　近藤勝次
常務理事　服部毅一
常任監事　見崎鹿造
静岡県焼津市中234番地

昭和漁業株式会社
静岡県焼津市城之腰115番地ノ1
電話(代)2131番

焼津遠洋漁業協同組合
組合長理事　増井礒太郎
静岡県焼津市中230番地

廻船魚問屋・缶詰・鰹節
遠洋漁業・貿易・餌料
シエル石油KK代理店
株式会社　松村友吉商店
焼津市築港
電話焼津2141番(代表)

清寿漁業株式会社
静岡県清水市村松南75
電話清水(2)5101—4番

静岡県鰹鮪漁業協同組合
静岡県鰹鮪漁業者協会
静岡県焼津市中234番地
電話焼津2442番

=1961年
元旦=

横浜ゴム製造株式会社
藤倉ゴム工業株式会社　代理店
出港用品一式
有限会社　ヨコハマ屋
代表者　渥美大三郎
三浦市三崎港　電話三浦2824番

ハツネ薬局
三浦市三崎町入船55
電話三浦2462番

社団法人　漁船協会
理事長　木村嘉次
東京都千代田区丸ノ内
(丸ビル603号)
電話和田倉(201)4588番

1961年　謹賀新年　元旦

薩州丸
伊藤漁業株式会社
社長　伊藤由五郎
神奈川県三浦市三崎町仲崎85
電話（三浦）2445・2825番

福生水産株式会社
神奈川県三浦市三崎町花暮121
電話（三浦）3252・2837番

大成水産株式会社
神奈川県三浦市三崎町仲崎 142
電話（三浦）3379番

かくじう水産株式会社
社長　畠山泰蔵
本社　宮城県気仙沼市魚町
電話　117番
出張所　神奈川県三浦市三崎町天神堂2461
電話（三浦）2004番

孝勇丸
孝勇丸漁業生産組合
佐藤孝吉
神奈川県三浦市三崎町東岡3504
電話（三浦）2771・3638番

株式会社
山口県漁業公社
三崎事業所
神奈川県三浦市三崎町花暮 141
電話（三浦）2250番

豊州丸
三木久雄
神奈川県三浦市三崎町入舟53番地
電話（三浦）2482番

第8幸漁丸・第11幸漁丸
荻布漁業部
荻布貞雄
富山県高岡市片原横町1087
電話　657番

109隻　47,508屯66　26社

神奈川県鰹鮪漁業者協会
会長　菅野進
参事　水戸邦雄
神奈川県三浦市三崎町
電話（三浦）3375番

謹　賀　新　年 昭和36年元旦 ~~~~

神奈川県鰹鮪漁業協同組合

組合長　寺　本　正　市

神奈川県三浦市三崎町西野92番地

電話（三浦）総務部 3185（代）—6番
業務部 3101（代）—6番
電気資材専用 2217番

三崎魚類株式会社

社長　久野又兵衛

神奈川県三浦市三崎港

電話（三浦）
市外専用売場（代表）2111—5
（代表）2121—5
市内専用売場（代表）2161—5
事務所専用（代表）2131—3
役員室 2134　船員寮 3387
製函部 2675　自動車部 3206

取引銀行　横浜銀行三崎支店

——多年の技術と経験を生かす！——

営業種目　船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置・冷房装置
冷凍機械器具・防熱装置
船舶冷凍冷蔵
設計　製作　施工

協同低温工業株式會社

本　社　東京都千代田区神田佐久間町1—21（山伝ビル）
電話（291）6101～5（内線31～3）
（291）7506（直通）

札幌営業所　札幌市北五条西5丁目　電話 札幌(2)4895

~~~~ 謹　賀　新　年 ~~~~

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造

装　備・補修一式

七洋電機株式会社

本　　社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地
電話荏原（712）2525・2526・3314番
神戸出張所　神戸市生田区栄町通3の37（栄町ビル）
電　話　神　戸(39)　0　7　7　8　番

▷ 最高の技術……永い信用 ▷

営業種目
高級無線通信機　ラジオヒーター
船舶用無線機　放送施設一式
高級無線用測定器　極超短波通信機
超短波通信機　ビーコン装置
VHF新聞通信社用

國際電氣株式會社

取締役社長　山　下　知　二　郎

本社・工場　東京都北多摩郡狛江町和泉150　電話砧(411)(代)7171—9番
電話武蔵調布472番
東京営業所　東京都港区芝西久保桜川町9　電話芝(591)代表7373—9番
大阪出張所　大阪市北区中之島2ノ25(江商ビル50号室)　電話北浜23 4553番
福岡出張所　福岡市天神町55（伊藤ビル）　電話中(4)2569・8186番

緑星社のSV60型ラジオブイ

用途；鮪延縄・鮭鱒流網・捕　鯨・底曳トロール
漁具流失防止　位置確認　操業時間短縮　等々

株式会社　緑　星　社

代表取締役　吉　田　内　次

営　業　所　東京都中央区小田原町2の15　電話(541)代1505～6，1797～8
研　究　所　東京都中央区築地5の1（東京中央卸売市場内）
電　話　(541)　2371
函館出張所　函館市根崎町140番地　電話函館(2)5825
~~~~

1961年 **謹　賀　新　年** 元　旦

航海計器の御相談は………

横浜市中区弁天通6ノ83　電話 (2) 代表 0596—8

有限会社　宇津木計器製作所

三　崎　出　張　所　へ　！

三浦市三崎町仲崎143番地
電話三浦2221番
営業所　技術部　横浜・工場　本牧

六分儀・クロノメーター・甲板時計・双眼鏡・バロメーター・インジケーター
船舶時計・コムパス・回転計・圧力計・配電盤計器類・各種航海用測器類　販売・修理

海図誌の御買上は………

日本郵船株式会社海図販売所

三　崎　出　張　所　へ　！

代行者　宇津木計器製作所

日本及び米国水路部図誌　海事図書販売

樹脂加工　各種まぐろ延縄用ロープ

特徴
① ま ぐ ろ の 喰 い 良 い
② タ ー ル 染 不 要
③ 他の追随を許さない耐久力と耐摩耗力

アサヒテックスロープ株式会社

本社　東京都三鷹市下連雀四〇〇番地　電話武蔵野(022-3)3978・7923番
出張所　神奈川県三浦市三崎町仲崎一六七番地　電話三浦　2957番

NAKASU（ナカス）船用冷凍機

漁船用冷蔵装置

株式会社　中須製作所

本社　東京都千代田區丸ノ內三菱仲14號館3號
電話丸ノ內 (28) 8730~5

工場　東京都大田區原町177番地
電話蒲田 (73) 3922・3923・3295

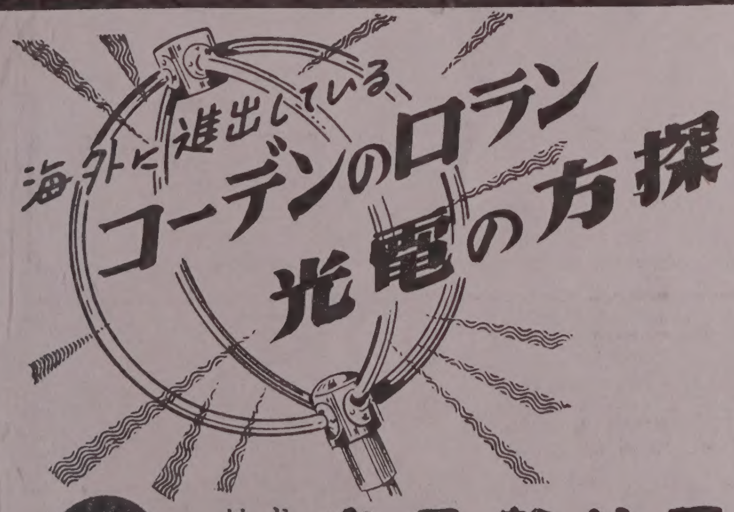
1961年 **謹　賀　新　年** 元　旦

＝設 備 完 成＝

鋼木船の造船修理一般　500噸　船　台　4　基
機重起10噸・7.5噸・5噸各1基

三 崎 船 舶 工 業 株 式 会 社

本　社　東京都中央区西八丁堀２ノ10　電 話 築 地（551）9611～5
工　場　神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎2446　電 話（三 浦）（代）3141



株式会社 **光電製作所**

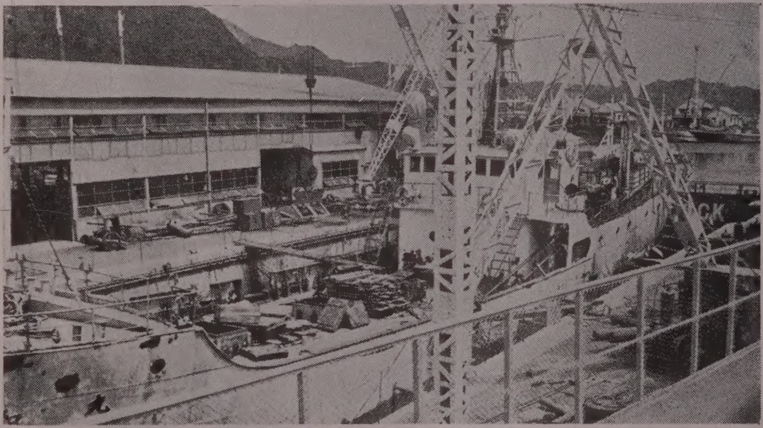
本 社　東京都品川区上大崎長者丸284
電 話 (441) 1131番（代表）

1961年 # 謹賀新年 元旦

漁船の建造、修理の御相談は

ドライドック	大きさ	長さ	幅	深さ	
		59.15 米	14.0 米	6.6 米	
	入渠可能船舶	長さ(垂線間)	幅(型)	吃水(平均汐高線1.7米に於て)	総屯数
		57.0 米	11.0 米	4.41 米	800屯

船台兼船架	建造又は上架可能船舶	構造	長さ	総屯数	数量
		4条軌条算盤式	50 米	500屯	2
		2条軌条式	50 米	250屯	2



下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社事務所 電話下田 1001(代表)～3番　本社現場事務所 電話下田1005(代表)～6番
武ヶ浜工場 電話下田 1008(代表)～9番
東京事務所　東京都中央区銀座東4―4 畜産会館1階　電話東京(541)9270(直通),4121(代表)～8番

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町

鮪漁業 第七十五号 昭和三十六年一月十日発行
昭和三十一年二月二十三日 第三種郵便物認可 (毎月一回十日発行)